



- 図版(写真) 280点
- 地図 105点
- グラフ・図表 122点
- 文字資料 55点
- 2次元コード 20点

message



岸本美緒

(きしもとみお)

お茶の水女子大学名誉教授

高校の必修科目として新しく設けられた「歴史総合」とは、近現代を中心に日本史と世界史とを結びつけて学ぶ科目ですが、その具体的な内容はどのようなものになるのか、先生方や高校生の皆さんには、期待とともに一抹の不安もあるかもしれません。本書は、従来の日本史・世界史教科書のスタンダードな記述の安定性や正確性といった長所をできるだけ保持しながら、世界史の大きな脈絡の中で日本史の展開を理解できるよう、両者を有機的に結びつけることを目指して編集されました。「歴史総合」の新たな特色として「思考力」を重視することが挙げられますが、本書の各部・各節の冒頭や本文の随所に提示された問いは、歴史の流れを把握する助けとなるよう、それぞれ工夫したものです。これらの問いは、性急な解答を求めるものではなく、授業の焦点を明らかにしてメリハリをつけるという意味も持っています。

歴史総合の学習は、本書の中だけで完結するものではありません。日ごろ新聞やテレビ、インターネットなど様々なメディアを通じて入ってくる情報を、自分の頭で考えながら生き生きとした知識として身につけ、現代の問題を世界史的な視野のもとで深く理解できるようになる——そのような信頼できる大人になることを目指す若い方々にとって、本書がその入口の1つとなることを願っています。

歴史総合

近代から現代へ 改訂版

歴総081-901 B5判(257mm×182mm) 254ページ

[編者]

岸本美緒 お茶の水女子大学名誉教授

鈴木 淳 東京大学教授

[著作者]

池田嘉郎 東京大学教授 小豆畑和之 東京都立西高等学校教諭

老川慶喜 立教大学名誉教授 仮屋園巖 東京都立国立高等学校教諭

勝田俊輔 東京大学教授 中家 健 東京都立小石川中等教育学校教諭

小松久男 東京大学名誉教授 野崎雅秀 東京大学教育学部附属中等教育学校教諭

島田竜登 東京大学准教授

古川隆久 日本大学教授 松本英治 開成中学校・高等学校教諭

牧原成征 東京大学教授 株式会社 山川出版社

(2025年3月現在)



鈴木淳

(すずきじゅん)

東京大学教授

歴史総合は、現代的な諸課題につながる近現代の日本と世界の歴史を学びながら、歴史的なものの見方、考え方を身につける科目です。新型コロナウイルスの流行でも改めて確認させられたように、日本と世界はつながって、同じ歴史をつくっています。近現代は世界大戦をはじめ、政治や経済、そして伝染病をも伝えてしまう人々の動きまで、世界が一体化を深めて来た時代です。日本の歴史も世界との関係の中でとらえ、また他の国や地域と対比することで意味がはっきり見えてきます。そのような歴史のとらえ方は、自分たちが何者であるかを理解するとともに、国外の様々な背景を持った人々を理解する上で重要です。

日本史に関して、この教科書では近現代史のあらましを学びますが、世界との関係を重視し、また他の国や地域と対比しやすいかたちでの叙述を試みています。そして、知識を得るだけではなく、なぜそうなったのだろうと問いを立て、自分で歴史的事実の確かさや順序、相互の関連を見きわめ、それに基づいて説明を考える機会を得られるよう工夫しています。そのような学習を通じて、現代的な諸課題の解決の手段として歴史的背景の理解や過去の経験を生かす力をつけ、また見方が違う人とも事実に基づいて話し合うことで、なぜ違うか理解を深めて共存への道を探れることを学んでもらいたいと思います。そして、歴史への関心がより古い時代を含めた探究の学習につながることも期待しています。

探究につながる詳しい記述

1 歴史の流れを詳述、信頼できる内容 (→p.26-27)

- 時系列を重視**し、歴史的なできごとの背景や因果関係(「だれが・いつ・どこで・なにを・なぜ・どのように」)が理解しやすくなるように論理的な記述を心掛けました。
- 近現代の通史を充実させ、**入試に必要な思考・判断・表現のベースとなる知識**が得られるようにしています。

2 日本史探究・世界史探究とのつながりを意識 (→p.28-29)

- 日本史探究・世界史探究の学習へのつながりを意識**し、日本史分野・世界史分野の記述量が偏らないよう、**バランスに配慮**しました。また、日本と世界のつながりを重視した記述としました。
- 冒頭に「参考資料」として「諸地域世界の形成」を設けています。東アジア、南アジア・東南アジア、西アジア、ヨーロッパの**各地域世界ごとの風土や歴史**について、見開きで簡潔に解説しています。

3 歴史の着眼点となる問いかけを設定 (→p.30-31)

- 歴史的なできごとの主体や目的、背景、意味、影響などについて生徒が着眼点をもって本文を読めるように、**テーマの冒頭や本文の脇に理解と考察をうながす問い**を設けました。

関連教材

ICT教材

- 教師用指導書 デジタルコンテンツ集**には、教科書の単元ごとの「授業用スライド」や、観点別評価を示した「知識確認問題」「定期テスト問題」などのデジタルコンテンツを収録し、授業をサポートいたします。(→p.8)
- 10,000点以上の地歴公民デジタルコンテンツを定額制でご利用できる**山川&二宮ICTライブラリ**をご用意しました。上記**教師用指導書 デジタルコンテンツ集**とあわせてご活用いただくことで、ICT活用がさらに充実します。

準拠教材

歴史総合 近代から現代へ 改訂版 ノート B5判 予価880円(税込) (→p.38)
歴史総合 要点チェック 改訂版 B5判 予価660円(税込)

補助教材

山川 歴史総合 用語解説／同・アプリ付き版 四六判 定価990円(税込)／定価1,650円(税込)
歴史総合問題集 B5判 定価990円(税込)
歴史総合資料集 AB判 定価440円(税込)
歴史総合学習のための世界地理 AB判 定価440円(税込)
地図&年表で整理 歴史総合 AB判 定価440円(税込)
ムービー歴史総合 DVD2枚組 定価22,000円(税込)

目次と配当時間例

目次

配当時間例(月/時数)

4月/4

5月/6

6月/8

7月/6

9月/7

● 巻頭資料 諸地域世界の形成 ——— 4

歴史の扉① 歴史と私たち

日本と洋菓子 ——— 12

歴史の扉② 歴史の特質と資料

台湾における砂糖の生産 ——— 14

近世・近代以前の東アジア、南アジア・東南アジア、西アジア、ヨーロッパについて概観を紹介しています。➡p.28

洋菓子和砂糖を題材に、身近にある事象の背景や歴史を考察します。

第Ⅰ部

近代化と私たち

【〇〇化への問い】

学習指導要領「〇〇化への問い」に取り上げられている項目について、資料を掲載しています。各部の学習に入る前に、それぞれ1つの項目を選択し、疑問や課題意識を持つようにします。➡p.30-31

近代化への問い ——— 18

1 交通と貿易／2 産業と人口／3 権利意識と政治参加や国民の義務
4 学校教育／5 労働と家族／6 移民

【本文】

※本文の特徴はこのパンフの➡p.26-31)をご参照ください。

第1章 結びつく世界

1 アジア諸地域の繁栄と日本 ——— 24
2 ヨーロッパ人の海外進出とヨーロッパにおける主権国家体制の形成 ——— 30

第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立

1 アメリカ独立革命とフランス革命 ——— 36
2 ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ——— 40
3 19世紀前半のヨーロッパ ——— 43
4 19世紀後半のヨーロッパ ——— 47
5 19世紀のアメリカ大陸 ——— 52
6 西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 ——— 55
7 中国の開港と日本の開国 ——— 59

第3章 明治維新と日本の立憲体制

1 明治維新と諸改革 ——— 66
2 明治初期の対外関係 ——— 70
3 自由民権運動と立憲体制 ——— 74

第4章 帝国主義の展開とアジア

1 条約改正と日清戦争 ——— 78
2 日本の産業革命と教育の普及 ——— 81
3 帝国主義と列強の展開 ——— 85
4 世界分割と列強の対立 ——— 88
5 日露戦争とその影響 ——— 91

【〇〇化と現代的な諸課題】

部のまとめ「現代的な諸課題」では、学習指導要領にある観点をすべて取り上げました。資料を読み解きながら、現代の諸課題について自ら課題を設定して考えます。➡p.31

近代化と現代的な諸課題 ——— 97

自由・制限／開発・保全

【〇〇化への問い】

学習指導要領「〇〇化への問い」に取り上げられている項目について、資料を掲載しています。各部の学習に入る前に、それぞれ1つの項目を選択し、疑問や課題意識を持つようにします。➡p.30-31

【本文】

※本文の特徴はこのパンフの➡p.26-31をご参照ください。

【〇〇化と現代的な諸課題】

部のまとめ「現代的な諸課題」では、学習指導要領にある観点をすべて取り上げました。資料を読み解きながら、現代の諸課題について自ら課題を設定して考えます。➡p.31

New!

教科書ポータルサイト

コンテンツ一覧

用語解説

重要用語を解説しています。

スピードチェック

問題形式で内容を確認できます。

比較年表

任意の地域の年表を比較して参照することができます。

右の2次元コードまたはURLから、学習に役立つコンテンツを収録した、教科書ポータルサイトにアクセスできます。

<https://highschool-textportal.ywl.jp/rekisou1>

歴史資料

文字資料

アメリカ独立宣言(抜粋) 37／人権宣言(抜粋) 38／大日本帝国憲法 77／二十一条の要求 107／日本国憲法 161／サンフランシスコ平和条約 166／日米相互協力及び安全保障条約 192／日韓基本条約 194／日中共同声明 194

イギリスの産業革命 41／足尾銅毒事件 83／日露戦争 93／米騒動 127／東京大空襲 150／朝鮮戦争 156／核兵器 201／石油危機(オイルショック) 207／EUが発足した理由 219／自衛隊の国際貢献 228

(動画はすべてNHK for Schoolのコンテンツです。)

動画

国際秩序の変化や大衆化と私たち

国際秩序の変化や大衆化への問い ――― 100

- 1 国際関係の緊密化／2 アメリカ合衆国とソ連の台頭
3 植民地の独立／4 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化
5 生活様式の変化

第5章 第一次世界大戦と大衆社会

- 1 第一次世界大戦とロシア革命 ――― 105
2 国際平和と安全保障 ――― 112
3 アジア・アフリカ地域の民族運動 ――― 117
4 大衆消費社会と市民生活の変容 ――― 122
5 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加 ――― 126

第6章 経済危機と第二次世界大戦

- 1 世界恐慌の発生と各国の対応 ――― 132
2 ファシズムの台頭 ――― 135
3 日本の恐慌と満洲事変 ――― 138
4 日中戦争と国内外の動き ――― 142
5 第二次世界大戦と太平洋戦争 ――― 146

第7章 戦後の国際秩序と日本の改革

- 1 新たな国際秩序と冷戦の始まり ――― 152
2 アジア諸地域の独立 ――― 155
3 占領下の日本と民主化 ――― 160
4 占領政策の転換と日本の独立 ――― 164

グローバル化と私たち

グローバル化への問い ――― 172

- 1 冷戦と国際関係／2 人と資本の移動／3 高度情報通信／4 食料と人口
5 資源・エネルギーと地球環境／6 感染症／7 多様な人々の共存

第8章 冷戦と世界経済

- 1 集団防衛体制と核開発 ――― 179
2 米ソ両大国と平和共存 ――― 181
3 西ヨーロッパの経済復興 ――― 183
4 第三世界の連携と試練 ――― 186
5 55年体制の成立 ――― 190
6 日本の高度経済成長 ――― 195
7 核戦争の恐怖から軍縮へ ――― 200
8 冷戦構造のゆらぎ ――― 202
9 世界経済の転換 ――― 206
10 アジア諸地域の経済発展と市場開放 ――― 209

第9章 グローバル化する世界

- 1 冷戦の終結と国際情勢 ――― 214
2 ソ連の崩壊と経済のグローバル化 ――― 217
3 開発途上国の民主化と独裁政権の動揺 ――― 220
4 地域紛争の激化 ――― 223
5 国際社会のなかの日本 ――― 226

第10章 現代の課題

- 1 現代世界の諸課題 ――― 230
2 現代日本の諸課題 ――― 233

現代的な諸課題の形成と展望 ――― 235

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

1. 歴史の流れを詳述、信頼できる内容

思考・判断・表現のベースとなる知識を固めるために、近現代の通史を充実させています。

歴史的なできごとの因果関係を理解しやすいように、丁寧かつ論理的な記述を心がけています。

文章や用語を補足する注は最低限とし、簡潔な記述にしています。

第9章

グローバル化する世界

1 冷戦の終結と国際情勢

Q1 1980年代前半のソ連は、どのような状態にあったのだろうか。

① 彼らはムジャーヒディーン(イスラームを防衛する聖戦(ジハード)の戦士)と自称し、アメリカやパキスタンの支援も受けてソ連軍と戦った。

ソ連の行き詰まり 1979年、ソ連は南方の隣国であるアフガニスタンの社会主義政権を支えるために、軍事介入をおこなった。当時、アフガニスタンの社会主義政権は、内紛のために不安定であり、イスラーム主義を掲げる武装勢力①の攻撃も受けていた。しかし、山岳地帯に立てこもる武装勢力に対して、ソ連軍は有効に戦うことができなかった。あたかもベトナム戦争におけるアメリカ軍の轍を踏むかのように、ソ連のアフガニスタン介入は泥沼化した。

西側諸国の世論はソ連を強く非難し、アメリカ合衆国と日本を含む西側諸国の一部と中国は、1980年のモスクワ=オリンピックをボイコットした。緊張緩和(デタント)は終わりを告げ、東西関係は再び冷え込んだ。この年の選挙で「強いアメリカ」の必要性を訴えて当選したアメリカ大統領レーガンは、人工衛星を使ってソ連の核ミサイルを迎撃する戦略防衛構想を打ち出した。アメリカが最新技術を用いた軍事構想を積極的に展開したのに対して、ソ連では軍事のハイテクノロジー化が遅れていた。また、ソ連指導部はブレジネフが1982年に死去したのち、後任の書記長が高齢で、2人続けていずれも1年余りで死去していた。ソ連指導部は世代交代の必要性を認識し、1985年に54歳のゴルバチョフを新書記長に選出した。

この時、ソ連経済はきびしい状態にあった。経済成長が停滞していたにもかかわらず、アメリカとの軍備拡張競争のために、国内総生産(GDP)の4分の1程度を軍事支出に振り向けていた。重要な外貨獲得の手段であった原油も、この頃に価格の低下が始まった。そして1986年には、チェルノブイリ(チェルノブイリ)原子力発電所(現、ウクライナ)で爆発事故がおこった②。これは管理体制の不備などによって発生した人災であり、ソ連

の沈滞を象徴するできごとであった。

新思考外交 ギルバチョフは、アメリカとの軍備拡張競争の負担を軽減することをめざし、「新思考外交」を掲げて、アメリカとの抜本的な関係改善に乗り出した。1985年以降、ギルバチョフはレーガンと会談を重ね、87年にワシントンで中距離核戦力(INF)全廃条約③の調印にこぎ着けた。翌年には、アフガニスタンからのソ連軍の撤退も決めた。

さらにギルバチョフは、東ヨーロッパ支配を終わらせ、ソ連軍駐留費などの負担を減らすことも決意した。東ヨーロッパ諸国はそれぞれが望む道を進めばよいという姿勢をギルバチョフが表明すると、各国では改革運動が始まった。当初は各国の共産主義政党の改革派が主導権をとったが、やがて体制の転換を求める国民の声が圧倒的となり、1989年には共産主義政党の単一支配体制の放棄と、社会主義から資本主義への転換が急速に進んだ(東欧革命)④。ポーランドでは自主管理労働組合「連帯」が選挙で躍進して、東ヨーロッパ初の非共産党政権を誕生させた⑤。東ドイツでは、東西を隔てていた「ベルリンの壁」が民衆の手によって破壊された。チェコスロヴァキアではドブチュクが復讐し、ルーマニアでは独裁体制を続けてきたチャウシェスク大統領が処刑された。同年末、ギルバチョフは、レーガンの後継者であるブッシュ(41代)大統領と地中海のマルタ島沖で会談し、冷戦の終結を宣言した。

ギルバチョフは当初、安全保障上の理由から、東ドイツが西ドイツと統一されることを望んでいなかった。イギリスとフランスも、強力な統一ドイツの出現を恐れていた。しかし、ブッシュ大統領と西ドイツのコール首相は粘り強く交渉を進め、1990年10月に東西ドイツが統一された。

イラン=イスラーム革命 資本主義対社会主義という冷戦の枠組みを大きくこえるような動きは、すでにギルバチョフの登場以前から、国際情勢に現れはじめていた。とくに1979年のイランにおける革命は、イスラーム主義の台頭という新しい現象を、世界中に示した。

1960年代、イランでは国王バフレビー2世によって、欧米化・近代化政策が進められたが、独裁



2 中距離核戦力全廃条約の調印
ギルバチョフ(左)とレーガン(右)。

② 1990年に、「連帯」の指導者ワレサが大統領になった。

④ 東欧革命 ルーマニア共産党本部前の広場を占拠する市民と市民側についた国軍の戦車。手前の人物は、社会主義を示すマークを切り抜いた国旗を掲げている。



1 冷戦の終結と国際情勢

2 ソ連の崩壊と経済のグローバル化

ギルバチョフが始めた改革は、ソ連の崩壊へと行き着いた。その後、ユーゴスラヴィアも激しい内戦の末に解体した。なぜソ連は崩壊し、ユーゴスラヴィアは解体したのだろうか。また、冷戦後の世界で、経済のグローバル化はどのように進展したのだろうか。

ソ連崩壊 ギルバチョフは「新思考外交」を進める一方で、内政面では「ペレストロイカ(建て直し)」をスローガンにして、社会主義体制の抜本的な改革に着手した。企業に経営上の自主性を与えるなど、資本主義を部分的に導入することによって、経済の活性化がはかられた。共産党は改革に消極的であったため、ギルバチョフは「グラスノスチ(情報公開)」による言論の自由化を掲げて、広く国民のあいだに改革に向けた議論をおこすことをめざし、同時に共産党とは別の組織づくりを進めた。そして1989年には人民代議員大会という新しい議会が開かれ、90年には複数政党制の導入が決まった。さらに、ソ連大統領というポストも新設され、ギルバチョフが就任した。

しかし、資本主義を部分的に導入することで社会主義を刷新しようとするギルバチョフのねらいは、望ましい成果をあげられなかった。むしろ、自主性を認められた各企業が独自に行動しはじめると、計画経済のもとで非効率ながらも機能していた流通に混乱が生じ、極端な物不足が発生した⑥。さらに、炭鉱労働者などのストライキも頻発し、経済の混乱に拍車をかけた。国民のあいだでは社会主義の放棄と資本主義への転換を求める声が高まっていった。言論統制や国民に対する監視体制が緩和されるなか、ソ連の連邦制もゆらぎはじめた。中央アジアやカフカスなどでは、共産党独裁のもとでおさえ込まれていた民族紛争が表面化した。また、かつてスターリンによってソ連に併合されたバルト3国は、1990年に一方的に独立を宣言した。そのほかのソ連内の共和国でも、連邦政府に対して自主性の強化を求める動きがおこった。1991年6月には、ソ連内で最大の共和国であるロシア共和国で、急進的な改革を主張するエリツィンが大統領に当選し、ギルバチョフの強力なライバルとなった。

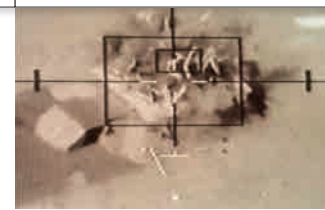
東ヨーロッパ諸国が影響下から離脱することによる、ソ連の国際的な発言力の低下や、国内で深まる混乱に危機感を覚えた共産党内の保守派



⑥ ソ連経済の停滞 プレジネフ(→p.203)政権末期以降のソ連では、計画経済の硬直化や流通の不備による食料品や日用品の不足がしばしばおこった。写真は、商品がまったくおかれていないモスクワのスーパーマーケットの様子。

Q1 ギルバチョフが始めたソ連の改革は、なぜ成果をあげることができなかったのだろうか。

図版に番号をつけ、関連する本文に番号を示しました。
図版・注の番号はテーマで通しています。



一方で湾岸戦争は、冷戦構造が解体しても、個々の地域レベルの紛争がなくなるわけではないということを示していた。また、資本主義が社会主義といった、従来の対立軸とは関わりのない、個々の国家の領土的野心、あるいはナショナリズムなどが、紛争のおもな要因になり、それだけ国際情勢の見通しは不透明になっていった。

3. 歴史の着眼点となる問いかけを設定

疑問や課題意識をもって学習に取り組むための問いや資料を数多く設けています。

第5章

第一次世界大戦と大衆社会

1 第一次世界大戦とロシア革命

第一次世界大戦は、なぜおこり、各国の社会や国際秩序にどのような変化をもたらしたのだろうか。また、この戦争が、史上初の総力戦と呼ばれるのはなぜだろうか。

バルカン半島での対立

20世紀初頭、列強の二極分化が進み、協商国と同盟国の対立が深まった。対立の焦点

となったのは、オスマン帝国から新たに独立した国々が領土をめぐるにらみあい、列強も介入をねらうバルカン半島で、その状況から「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれた。とりわけロシアは、日露戦争の敗北によって再びバルカン半島に目を向け、オーストリアもまたバルカン半島での影響力を広げようとしていた。1908年、青年トルコ革命によるオスマン帝国の混乱に乗じて、オーストリアはベルリン会議で行政権を得ていたボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合した。セルビアはこれに強く反発し、同じ正教国として関係の深いロシアに支援を求めた。

1912年、セルビアなどのバルカン諸国はオーストリアを警戒するロシアの後援でバルカン同盟をつくり、領土拡大のためオスマン帝国と戦って翌13年に勝利し、バルカン半島の大部分を割譲させた(第1次バルカン戦争)。しかし同年、獲得した領土の分配をめぐる同盟諸国間で戦争(第2次バルカン戦争)がおこり、これに敗れたブルガリアはドイツ・オーストリアに接近した。

第一次世界大戦の開戦

1914年6月、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの中心都市サラエヴォで、オーストリアの帝位継承者夫妻がセルビア人により暗殺された。これをきっかけに

7月末にはドイツの後援を得たオーストリアがセルビアに宣戦を布告し、8月にはドイツがロシアに宣戦を布告した。フランスやイギリスもドイツに宣戦し、極東では日英同盟を結んでいた日本もそれに続いた。こうして戦争が地球規模に広がり、第一次世界大戦となった。

ドイツは中立国ベルギーに侵入し、フランスに進撃したが、



「ヨーロッパの火薬庫」 いまにも吹きこぼれそうな火蓋には「バルカン問題」と書かれており、おさえ込もうとする列強も戦々恐々としている。

Q1 バルカン半島は、なぜ「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれたのだろうか。

●スラヴ人の多いセルビアは、同じく多くのスラヴ人が暮らすボスニア・ヘルツェゴヴィナの編入を望んでいた。

●サラエヴォを訪れたオーストリア帝位継承者夫妻 この写真が撮られた直後に暗殺された。



1 第一次世界大戦とロシア革命 105

テーマごとに導入の問いを設け、学習の目的を明確にしています。

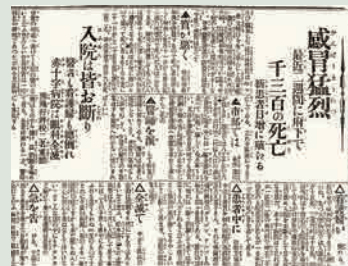
本文を読む際の着眼点となるQを設け、深い読解と考察をうながしています。

問いやQの解答例は、『教師用指導書 授業実践編』に掲載しています。また、『教師用指導書 デジタルコンテンツ集』の「問い・解答例一覧」には、解答を導くためのヒントや解説を付しています。→p.36

「〇〇化への問い」では、生徒が諸資料をもとに、学習のなかで探っていく問いをみずから表現することが求められています。図版・資料とリード文で、その材料となる諸資料の一例を紹介し、問いのきっかけとなる視点を示しています。

6 感染症

① 人々の交流の範囲が広がり、移動の時間が短縮されるにつれて、感染症の流行も拡大した。Aは、1918(大正7)年に大流行したスペイン風邪(新型インフルエンザ)の第1波を示したものである。なお、この流行は第2波、第3波と続き、死者は世界中で5000万人ともいわれる。Bは流行当時の日本のポスター、Cは感冒(スペイン風邪)に関する新聞記事、Dはスペイン風邪以降の新型インフルエンザの流行の推移である。これらを見て、感染症の広がり方や、当時の人々の生活に与えた影響などについて考察し、問いを表現してみよう。



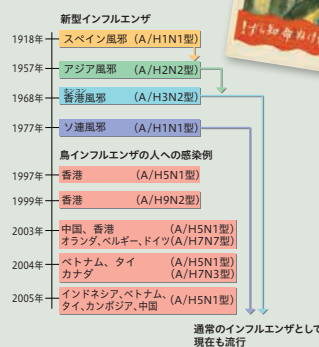
C スペイン風邪に関する記事 (『東京朝日新聞』1919年2月3日)

② Bの写真は、2003年にコロナウイルスによる重症急性呼吸器症候群(SARS)が発生した時の仁川国際空港の様子で、熱感知装置を利用して入国する乗客の体温をはかっている。現代の感染症の広がり方やその対策についてもふまえ、感染症の歴史について、問いを表現してみよう。



A 1918年のスペイン風邪第1波の流行経路 (K.David Patterson and Gerald F.Pyle, "The Geography and Mortality of the 1918 Influenza Pandemic"より作成)

B スペイン風邪流行時のポスター (内務省衛生局「流行性感冒」より)



D 新型インフルエンザの流行の推移 (横浜市衛生研究所「感染症発生状況資料集」より)

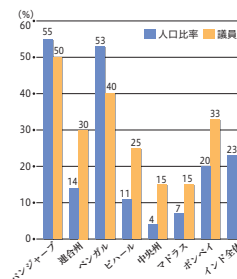


E 空港でのSARS対策 (『東洋日報』2003年12月17日)

国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題

対立・協調

第一次世界大戦後のインドの独立運動では、イギリスの分断政策の影響もあり、ヒンドゥー教徒とイスラム教徒の対立が問題となった。「対立」と「協調」の視点から、当時のインドの状況を考えてみよう。



B 1916年のイスラム教徒の人口比率とラウナー協定でのイスラム教徒議員比率 (歴史学研究会編「世界史10」より作成)

発問1 史料Aでイスラム教徒議員の比率を定めていることに注目し、グラフBも参考にしてヒンドゥー教徒とイスラム教徒がどのように協力関係を築こうとしていたかをまとめてみよう。

発問2 史料Cからヒンドゥー教徒内部の対立について説明してみよう。

発問3 発問1・2をふまえて、現代における宗教をめぐる対立と協調について調べてみよう。



ガンディー(左)とアンベードカル(右) アンベードカル(→p.158)は不可触民出身。インド独立後、ネルー内閣のもとで法務大臣としてインド共和国憲法の起草を起草した。晩年、仏教に改宗した。

A ラウナー協定

4. 重要な諸マイノリティーの代表に於ては、適切な条項を設ける。イスラム教徒に関して、下記のような特別の議員枠を設ける。
パンジャブ州：選挙で選出するインド人議員のうちの50%、連合州：同30%、ベンガル州：同40%、ビハール州：同25%、中央州：同15%、マドラス州：同15%、ボンベイ州：同3分の1 (歴史学研究会編「世界史10」)

C アンベードカルのカンティ批判

会議派はこの問題を正式に認める、という以外実際には何もしてこなかったのではあませんか? ……不可触民の誰かを家や雇ってやるとか、不可触民学生の援助をしてやる、少なくとも週1回位は不可触民学生を家に招んで一緒に食事をしてやるとか、そういうことをしない人間は会議派メンバーになれないといった条件を課することができ、すべきではなかったのでしょうか。もしそういう具体的実践が伴っていれば、会議派の地区委員長が不可触民の寺院立入り反対の先頭に立つなどといった馬鹿げた光景は見られなかったと思います。
あなたは、イギリス政府は心を変えないとよくおっしゃいますが、私にいわせれば、われわれの問題に関してヒンズーはイギリスと同じです。……私たちはマハトマも、他の指導者たちも信じる気になれません。……マハトマは東の間の幻影のように、人を迷わすが、実際には何も変えはしないということを歴史は証明するでしょう。
(ダナンジャイ・キール(山原素男訳)『アンベードカルの生涯』)
●「偉大な魂」の意で、ガンディーの尊称。

「〇〇化と現代的な諸課題」は、過去から現代にわたって続いている諸課題について、過去の人々がどのようにその課題に取り組んだかを諸資料を参考に確認しつつ、みずから追究する課題を設定して考えていくページです。現代的な諸課題に取り組むきっかけとなる、わかりやすく、具体的な資料を選んでみます。

教師用指導書 授業実践編

「〇〇化と現代的な諸課題」の指導解説ページ例

国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題

対立・協調

ねらい (評価規準：p.21)

第一次世界大戦後、民族自決の原則が示され、アジア諸国の民族運動が高揚したが、各国の独立は第二次世界大戦後まで実現しなかった。その背景には様々な「対立と協調」が存在した。「インドの独立運動」を例に、第一次世界大戦後の民族運動について考えさせたい。

インドでは、大戦中にイギリスが約束していた自治の拡大は実現せず、イギリスはヒンドゥー教徒とムスリムの対立を利用し、民族運動の分断をはかろうとしていた。たしかに、ヒンドゥー教徒とムスリムのあいだには対立もあった。しかし、第一次世界大戦後、オスマン帝国のカリフ制を守るとうするインドのムスリムのヒラ・アト運動は、ヒンドゥー教徒も巻き込んでいった。こうしたヒンドゥーとムスリム間の協調は、第一次世界大戦中にもみられる。資料A「ラクナウー協定」、グラフB「ラクナウー協定でのムスリム議員権」を読み、両者がどのように「協調」したかを考えさせたい。

一方、ヒンドゥー教徒はカースト制による分断という問題を抱えていた。資料C「アンベードカルのカンディー批判」を読み、不可触民をめぐるヒンドゥー教徒内部の「対立」を考えさせたい。

資料解説 A ラクナウー協定

第一次世界大戦でインドはイギリスに協力する姿勢をみせた。それはインド国民会議派や全インド＝ムスリム連盟が、協力をこにイギリスからインドの「自治」を獲得するためであった。一方、イギリスも、反英運動の高揚による混乱は避けたいと考えていた。

ラクナウーはニューデリーの北東約500kmに位置する、インドのウッタル＝プラデーシュ州の州都。1916年末、ここでインド国民会議派とムスリム連盟は同時期に年次大会を開催し、憲政の改正を検討した。資料は将来の「自治」を前提とし、インド国民会議派とムスリム連盟が協定した両者の勢力配分の見取り図といえよう。

図版解説 B 1916年のムスリムの人口比率とラクナウー協定でのムスリム議員権

インド大反乱鎮圧後、イギリスは中央と州に行政および立法のための機関である参事会を設置し、インド人もそのメンバーに加えていた。そこにはインド人との和解や協力関係を構築する目的もあった。問題となったのはヒンドゥーとムスリムの人数比であった。1909年のモーリー＝ミントー改革により、参事会議員数が大幅に拡大され、インド人議員を選挙で選出することになった。その際に少数派であるムスリムに配慮した分離選挙制度が導入された。

ラクナウー協定は、インド国民会議派がこのムスリムに配慮した選挙制度を認めたことで成立した。グラフからは、(1)ムスリムの割合が少ない州＝中央4%⇒15%、マドラス7%⇒15%、ボンベイ20%⇒33%、連合14%⇒30%、ビハール11%⇒25%と議員割当ての割合を上げていること。(2)ムスリムの多い州＝パンジャープ55%⇒50%、ベンガル53%⇒40%と議員割当ての割合を下げていることが読み取れる。

資料解説 C アンベードカルのカンディー批判

アンベードカル(1891～1956)は、不可触民のコミュニティに生まれた。コロンビア大学とロンドン大学で博士号と弁護士資格を得て、不可触民差別反対運動の指導者となった。

資料は、1931年8月、カンディーと面会した際のアンベードカルの言葉。国民会議派はむしろ不可触民に対する差別を助長してきたと批判し、不可触民にも分離選挙を適用することを主張した。史料からアンベードカルのカンディーら国民会議派の指導者に対する怒りが読み取れる。

イギリスはアンベードカルの主張を分割統治に利用すべく、第2回英印円卓会議で不可触民に分離選挙を認める方向を示した。また、ムスリムに対しても分離選挙をおこなうことを提言している。

カンディーは不可触民に特別枠を認めることは差別を固定化することにつながると反対し、またイギリスの提案がムスリムに特別枠を与え、インドを宗教によって分断するものであると批判した。

しかし、アンベードカルはカンディーと会議派の姿勢を批判し、中央および地方議会の選挙での分離選挙を要求した。カンディーは「死に至る断崖」を宣言してアンベードカルに翻意をせまり、分離選挙は実現しなかった。そしてカンディーは、不可触民問題の解決が、インドにとってもっとも重要な問題と認識するようになった。

発問の解答例

発問1

必ずしもムスリムの人口比に応じて議員権を割り振るのではなく、ムスリムが圧倒的なマイノリティーとなる地域でも、人口比以上の議員権を割り振るように調整されている。一方、ムスリムがマジョリティーになる地域では、議員権が人口比を下回るようにするなど、ムスリムの側もヒンドゥー教徒に歩み寄っている。

発問2

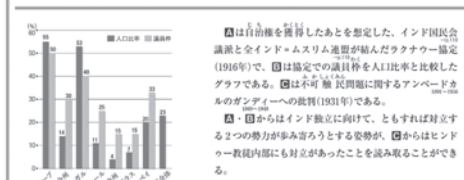
ヒンドゥー教徒中心の政治組織である国民会議派が、同じヒンドゥー教徒であるはずの不可触民を差別しており、不可触民のあいだで国民会議派への不満が高まっている様子がうかがえる。

発問3

インドでは、現代においてもヒンドゥー教内における不可触民差別が残存している。その一方で、インド政府は不可触民とされる人々の公務員への就職や大学への入学に優先枠を設けるなどして、差別の解消につとめている。

国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題
対立・協調

第一次世界大戦後のインドの独立運動では、イギリスの分断政策の影響もあり、ヒンドゥー教徒とムスリムの対立が問題となった。「対立」と「協調」の視点から、当時のインドの状況を考えてみよう。



B 1916年のムスリムの人口比率とラクナウー協定でのムスリム議員権

(歴史学研究会編「歴史資料」より作成)

重要なマイノリティーの代表に現しては、適切な表現を設ける。ムスリムに関して、下記のような制約の項目を設ける。

パンジャープ州：選挙で選出するインド人議員のうちの50%、連合州：同30%、ベンガル州：同40%、ビハール州：同25%、中央州：同15%、マドラス州：同15%、ボンベイ州：同3分の1

(歴史学研究会編「歴史資料」より作成)

C アンベードカルのカンディー批判

会議派はこの問題を正式に認め、という以外に何にもしてこなかったのではありませんか？……不可触民の代表を家や屋敷でやるか、不可触民学生の奨励をしてやる。少なくとも第1回は不可触民学生を家に招いて一緒に食事をしてやるか、そういうことをしない人間は議員メンバーになれないといった条件を課することができた。すべりではなかったのでしょうか。もしそういう具体的な実践が得ていれば、会議派の地区委員長が不可触民の身分入り反対の先頭に立つなどといった先駆けた先駆は見られなかったと思います。

あなたは、イギリス批判は必要だと思いますか？……いいえ、私は私にいわせれば、われわれの問題に関してはヒンズーはイギリスと同じです。……私たちはマハトマ、他の指導者たちも信じている気になります。……マハトマは東の隅の隅の隅に、人を運ぶが、突然には何も変えはしないというところを批判は説明するでしょう。

(アンジェイ・カール・(訳)「歴史資料」アンベードカルの手紙)

カンディー(左)とアンベードカル(右)

アンベードカル(1891～1956)は不可触民出身、インド独立後、オール・インドの指導者として活動した。晩年、仏教に改宗した。

平等・格差

ねらい (評価規準：p.21)

現在のオリンピック憲章では資料Aにあるように「スポーツをすることは人権の1つである」こと、性別その他の違いによってその権利が妨げられないことを示している。しかし図版Cにあるように、女子のオリンピック参加者は男子に比べて少ない時代が続き、現在でも完全に格差がなくなったわけではない。ここでは近代オリンピックにおける男女の「平等・格差」の問題について、同時代人々の受け止め方や、同時代における対処にもかかわらず、現在においても対応が求められている課題となっていることに気づかせたい。

まず、資料A「オリンピズムの根本原則」を読み、オリンピズムの根本原則がどのように表現されているかを考察させる。そして、資料Bで日本人初参加の女子選手である人見絹枝が、同時代に女性のあり方についてどのように考えていたかを理解する。

さらに、図版C「オリンピックに参加した国・地域の数と参加者数の推移」をみて、約120年のあいだにどのような変化がおきたか、また課題には何があるのかを考えさせたい。

資料解説 A オリンピズムの根本原則

資料は「オリンピック憲章」(国際オリンピック委員会)のなかに示された「オリンピズムの根本原則」である。オリンピズムの根本原則は、7項目があり、資料はその4と5である。そこには、近代オリンピックの根本原理が書かれている。

項目4で示されるのは、いわばオリンピックの精神で、それは、

8 **ねらい** 「〇〇化への問い」「〇〇化と現代的な諸課題」のページでは、**学習指導要領が求めているものや、先生方が指導をする際の留意点**などを、テーマごとにまとめています。

9 **図版解説・資料解説** 図版や史料資料について、注目すべき点などをより詳しく解説しています。

10 **想定される問いと解答例** 「近代化への問い」「国際秩序の変化や大衆化への問い」「グローバル化への問い」では、生徒に問いを表現することが求められています。ここでは**生徒から想定される問いや、その解答例**を示しています。

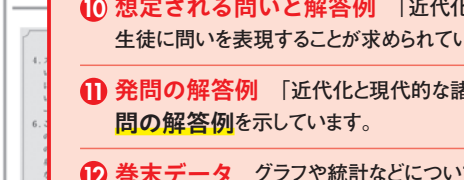
11 **発問の解答例** 「近代化と現代的な諸課題」「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」で教科書中に示した**発問の解答例**を示しています。

12 **巻末データ** グラフや統計などについては、指導書**巻末にデータ集**を設けています。

※本パンフレットでは取り上げていませんが、「巻頭資料 諸地域世界の形成」や「現代的な諸課題の形成と展望」についても収録しています。

国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題
平等

オリンピックの根本原則は、改訂されながら今に至っている。現在の根本原則をよ。現在のオリンピックや現代社会の「平等」や「格差」について、話し合ってみよう。



B オリンピズムの根本原則

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

して平和な社会を築いていくことである。なお、1908年ロンドン大会の陸上競技では英米のトラブルがあり、その後両国の国民感情が収束できなくなった際に、教会のミサで主教の話しした「オリンピックは勝つことではなく、参加することに意義がある」という言葉はその後のオリンピックの礎ともなっている。

項目6で示されるのは性に開く差別の解消で、これが具体的に盛り込まれたのは2004年以降であり(1991年版から「あらゆる形態の差別」として言及)、比較的年のことである。

資料解説 B 人見絹枝の話

人見絹枝は、1907年1月1日に岡山県で生まれた。岡山県立岡山高等女学校に入学し、テニスなど運動で活躍した。1924年には第5回岡山県陸上競技会に出場し、三段跳びで世界記録を出した。その後、京都市立第一高等女学校教諭を経て大阪毎日新聞社に入社して、スポーツの記事を書きながら、1926年の第2回万国女子オリンピック大会に出場、走り幅跳び・立ち幅跳びでは第1位、個人総合得点では優勝して、名を広めた。そして、1928年の第9回オリンピック・アムステルダム大会に日本の女子として初めて出場して、800m走で銀メダルを受賞した。しかし、体調を崩して1931年8月2日に24歳の生涯を終えた。

人見の著書『最新女子陸上競技法』では、女子の活躍について、古代ギリシアの時代から女子の体育はおこなわれていたことを紹介し、それに比べ、日本は「現在行はれんとする競技に対して、その芽をちぎる様な声を度々きくかなしさは女子として現日本の女子の体を見ている目どんなにのろしくもあり又どんなにその同情なき理解なき人々をなげくことであらう」と述べている。

図版解説 C オリンピックに参加した国・地域の数と参加者数の推移

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

図の表のように、人見がオリンピックに参加した当時は、男性に比べると女性の参加選手はわずかであった。その後、オリンピック参加選手の男女比率は徐々に近づいて、全体の女性比率が40%をこえるのは、21世紀に入ってからである。

(国際オリンピック委員会)

教師用指導書 デジタルコンテンツ集

収録予定コンテンツ一覧

コンテンツ名		ファイル	内 容
授業準備・授業	教科書紙面	PDF	教科書全ページの紙面データ
	指導書紙面	PDF	指導書全ページの紙面データ
	教科書本文テキスト	txt	本文・注・史料のテキストデータ
	教科書掲載地図・図表データ（カラー）	PNG	地図・図表のカラー画像データ
	教科書掲載地図・図表データ（モノクロ）	PNG	地図・図表のモノクロ画像データ
	教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	問いと解答例の一覧
	レイヤー分け地図データ	PDF	レイヤーで表示内容が選択できる地図データ
	白地図	PNG	プリント用・黒板用の画像データ
	授業用スライド	PowerPoint Googleスライド	各テーマごと、教科書に準拠したスライド
	準拠ノート対応スライド	PowerPoint Googleスライド	各テーマごと、準拠ノートの内容にあわせたスライド
授業評価	準拠ノート 紙面PDF（解答あり／なし）	PDF	準拠ノートの紙面データ
	準拠ノートテキスト	Word	準拠ノートのテキストデータ
	「〇〇化への問い」「〇〇な諸課題」へ取り組むためのワークシート	Word	特集ページへ取り組むためのワークシート
	巻頭資料・歴史の舞台へ取り組むためのワークシート	Word	特集ページへ取り組むためのワークシート
	教科書掲載問い対応ワークシート	Word	教科書48テーマを見開きページでまとめたプリント
	知識確認問題 ※〈知識・技能〉対応	Word Googleフォーム Microsoft Forms	各テーマごと、一問一答／選択式の問題
	定期テスト問題 ※〈知識・技能〉〈思考・判断・表現〉対応	Word	各テーマごと、穴埋め／会話文形式の問題
	自己評価・振り返りシート ※〈主体的に学びに向かう態度〉対応	Word	自己評価や授業の振り返りが行えるプリント
	大学入学共通テスト過去問題	PDF	試行問題～2026年度の問題を収録
	歴史総合学習のための世界地理	PDF	同名教材の紙面データ

※これらのコンテンツは制作中のため内容・仕様は一部変更の可能性がございます。

注目のコンテンツ紹介

ヒント・解説を充実させてリニューアル

教科書掲載問い・解答例一覧

▼改訂に際し、教科書掲載の問いとその解答例をすべて見直しました。

▼本文のすべての問いに解答を導くためのヒントを追加しました。適宜、「解説」も付しています。

章	節	掲載頁	問い	解答例	解答例を導くためのヒント	解説
第4章 帝国主義の展開とアジア	04-3 帝国主義と列強の展開	86	ヴィルヘルム2世の即位後、ドイツではどのような政策転換がおこなわれたのだろうか。	政治の主導権を握ることを望んだヴィルヘルム2世は、ヨーロッパの国際秩序維持をはかる宰相ビスマルクを失脚させ、海軍を増強するなど帝国主義政策を追求するようになった。	教科書p.49、小見出し「ビスマルクの政治」も参照して、それまでのドイツの政策を確認しよう。	ヴィルヘルム2世は工業力の躍進を背景に積極的な対外進出を開始した。海軍の増強に加え、中国での膠州湾租借（1898年）、モロッコへの進出（1905年・1911年、ともに失敗）などをおこなった。
	04-3 帝国主義と列強の展開	87	世界が一体化していく過程で、19世紀後半と20世紀前半に共通した、2つの進出の意図はどのようなものだろうか。	スエズ運河とパナマ運河の開通によって移動時間が短縮され、ヒトやモノの移動が容易になった。同時に、列強間の競争も従来より容易になった。	どのようものが運河を通るかを想像して答えよう。	
第4章 帝国主義の展開とアジア	04-4 世界分割と列強の対立	88	【問い】アジア	【ヒント】	【解説】	
	04-4 世界分割と列強の対立	89	【問い】アジア	【ヒント】	【解説】	
第4章 帝国主義の展開とアジア	04-4 世界分割と列強の対立	90	【問い】アジア	【ヒント】	【解説】	
	04-4 世界分割と列強の対立	90	【問い】アジア	【ヒント】	【解説】	
第4章 帝国主義の展開とアジア	04-5 日露戦争とその影響	91	【問い】アジア	【ヒント】	【解説】	
	04-5 日露戦争とその影響	91	【問い】アジア	【ヒント】	【解説】	

教科書の「これだけは！」を、流れと用語を中心に確認！！

教科書掲載問い対応ワークシート

▼本文48テーマを、教科書掲載の問いを中心に見開きページにまとめました。重要な用語を確認しながら教科書の問いに取り組むことで、各テーマの主題をコンパクトに把握することができます。

第1章 結びつく世界

教科書 p. 24～29

1 アジア諸地域の繁栄と日本

テーマの問い

アジア諸地域では広大な領域をもつ帝国が繁栄していたが、やがて衰退に向かった。日本は江戸幕府のもと、独自の体制を築いていた。アジアの諸帝国が繁栄できた理由は何だったのだろうか。また、アジア諸国とヨーロッパ諸国の関係はどのようなものだったのだろうか。

● 明の朝貢体制と東アジア

◆東アジアの国際秩序

①室町幕府にとって、ア、琉球王国への日、艦隊の派遣など、ウ、持参した貢物のエ、民間の自由な貿易

● 幕藩体制下の日本

④幕藩体制下の日本は、周辺諸国・諸民族とのあいだにどのような関係を築いていたのだろうか。

(⁵ 長崎)に中国・オランダの商船が来航して貿易がおこなわれた。また、(⁶ 対馬)藩を通じて朝鮮と、(⁷ 薩摩)藩を通じて琉球との通交・貿易がおこなわれ、(⁸ 松前)藩を通じてアイヌとの交易もおこなわれていた。

● 江戸時代の経済

◆幕藩体制の安定 → 人口の急増・都市の繁栄・商業の発展・流通網の発達

⑤18世紀以降、生糸や砂糖・人参の国産化が進んだのは、なぜだろうか。

日本の主要(⁹ 輸出)品であった銀や銅などの鉱物資源が不足するようになったため、(¹⁰ 輸入)品を国産化することで、(¹¹ 輸入)を減らし、鉱物資源の流出を防ごうとしたから。

● 琉球とアイヌ

◆琉球王国 … (⁷ 薩摩)藩の支配下におかれるが、中国との(¹ 朝貢)関係も維持

◆アイヌ … (⁸ 松前)氏など、和人との交易のなかで自立性を奪われていく

● 東南アジア

⑥ヨーロッパ諸国がアジアに来航した理由は、何だったのだろうか。

(¹² 香辛料・生糸・綿織物)などのアジアの特産物を求めたため。

● 西・南アジア

◆16世紀以降、3つのイスラム帝国(オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国)が繁栄

・いずれの帝国も多数の民族を統合し、国内外の流通が盛んで国際性豊か

→ オスマン帝国 … 地中海貿易などで商業発点。ヨーロッパ人に領内居住と通商の自由を公認

→ サファヴィー朝 … インドやアジア諸国と貿易。ヨーロッパ諸国と外交・通商関係を結ぶ

→ ムガル帝国 … 15世紀以降、ヨーロッパ諸国の進出

・サファヴィー朝が繁栄したイランには18世紀末に(¹³ ガーજール朝)がおこる

テーマの問いに答えよう

アジアの諸帝国は、整備された(¹⁴ 国家体制)や軍事制度、(¹⁵ 特産品)などをもっていたため。これらの国はヨーロッパ諸国と(¹⁶ 貿易)をおこない、(¹⁵ 特産品)を輸出していた。

年 組 番 氏名 評価

2

「テーマの問い」と「テーマの問いに答えよう」は連動しています。

※画像は制作中のものです。一部変更の可能性がございます。

歴史総合 近代から現代へ 改訂版 ノート

B5判 176ページ+解答20ページ 2色刷 予価880円(税込) ISBN 978-4-634-05816-3

第1章 結びつく世界

1 アジア諸地域の繁栄と日本①

▶ 教p.24～26

1 明の朝貢体制と東アジア

1 東アジアの国際関係の特徴：中国の王朝を中心とする朝貢関係

⇒14世紀半ば、漢人による中国支配を復活させた明は、周辺諸国と積極的に朝貢関係を結ぶ

*ムスリムの宦官① _____ を東南アジア・インド洋に派遣、諸国に朝貢をうながす

2 朝貢関係の特徴

中心国が周辺国に対し大国の度量を示すため、貢物の数倍の価値がある返礼品を与えることが一般的

⇒明から与えられる銅銭・生糸・絹織物などが周辺国の経済を活性化させる

対外交易を政府の管理する朝貢貿易に限定したため、民間の自由な貿易は阻害

16～17世紀の東アジア

1 朝貢体制の動揺

「大航海時代」開始以降、世界的な商業の活発化が東アジアの朝貢体制を動揺させる

⇒中国東南部沿岸では、中国人や日本人の入りまじる商人集団が密貿易や略奪行為をおこない、中国側から「② _____」と呼ばれる

⇒明は民間による海上貿易の禁止を緩和するが、日本との直接の貿易は許さなかったため、日中の双方に拠点を築いた③ _____ 人が貿易の担い手になる

2 明の周辺地域の動向

a 日本：織田信長・④ _____ が統一事業を進め、④ _____ は日本の統一後、朝鮮侵略(文禄・慶長の役)をおこなう

b 中国東北地方：⑤ _____ (満洲)人の政権が成長、17世紀初めに新たな王朝(後金、のち清と改称)を建てて明に対抗、朝鮮を服属させる

⇒明は農民反乱によって滅亡し、1644年に清が中国本土を占領、北京を首都とした大帝国を築く

清の政治と経済

1 清の政治

清の前半には康熙帝をはじめとした有能な皇帝が続く

⇒皇帝は、武芸を重んじる北方民族のリーダー、学問を重んじる中国王朝の皇帝、⑥ _____ 仏教の支援者など様々な側面を兼ね備え、帝国の統合をはかる

*漢人の住む中国本土では、中央集権的な官僚制度や、官僚を儒学の試験で登用する⑦ _____ など、従来の漢人王朝の制度が継承される

⇒漢人男性に⑧ _____ (満洲)人の風習である⑨ _____ を強制したり、清に逆らう言論を弾圧したりするなど、きびしい政策もとられる

2 清の経済

特徴：明に比べて自由放任的

⇒中国の商人による海外貿易やヨーロッパ船の来航によって、茶や生糸の輸出の対価として⑩ _____ が流れ込み、国内商業の発展を支える

- より解答を書きこみやすいようにリニューアルしました。
- 地図など資料を使った問題を増やしました。

*18世紀半ば、ヨーロッパ船の来航は⑪ _____ 1港に限定されるが貿易額はその後も増大
 ⇒18世紀には政治の安定のもと人口が急増、「大航海時代」にアメリカ大陸から伝来したトウモロコシやサツマイモなどの新作物が山地の開墾をうながし、人口増を支える
 ⇒開墾による環境破壊と自然災害の増加が社会不安を生み出し、18世紀末には四川を中心とする山間部で⑫ _____ がおこる

Question 下の絵をみて、以下の問いに答えてみよう。



(1)この絵は、明軍と倭寇の戦いの様子を描いたものである。中国側は、当時の「倭」をどのようにとらえていたのか、服装などから考えてみよう。

(2)倭寇は14世紀後半と16世紀に活発化した。倭寇の襲撃を受けた明や朝鮮は、日本側に取締まりを求めたが、徹底されなかった。その理由を、日本の国内情勢に注目して考えてみよう。

Question 下の地図をみて、以下の問いに答えてみよう。



(1)A～Cの藩部の名称を答えよう。

A: _____ B: _____ C: _____

(2)a～cの都市名を答えよう。

a: _____ b: _____ c: _____

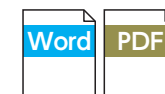
(3)あ～うの河川名を答えよう。

あ: _____ い: _____ う: _____

教科書中の図版・資料を利用して、読み取りや思考を重視した問題を掲載しています。日本史探究、世界史探究につながる発展的な問題もあります(一部、教科書に掲載されていない図版・資料を使用した問題もあります)。

教科書の叙述を板書形式で簡潔にわかりやすくまとめ、重要用語を穴埋めにしています。思考のペースとなる知識を確認できます。授業の予習(反転学習)・復習に最適です。

●ノートをご採用いただきますと、特典として①紙面PDFデータ(解答あり/なし) ②本文テキストWordデータ③Googleフォーム版④教科書掲載問いワークシートデータをご提供いたします。



第1章 結びつく世界

1 アジア諸地域の繁栄と日本③

▶ 教p.28～29

東南アジア

●ヨーロッパ勢力の進出

16世紀以降、ポルトガル・スペイン・オランダ・イギリスなどヨーロッパ勢力が進出

⇒東南アジアは東アジアからインド洋にかけての海域でおこなわれた① _____ の中継地として栄える

*アユタヤ朝やマラッカ王国は国際貿易からの利益を財政基盤とする② _____

●オランダ・スペインの活動

オランダ：オランダ東インド会社がマルク(モルッカ)諸島の③ _____ を独占的に入手、日本などアジア各地に商館を設置

スペイン：拠点を築いたフィリピンの④ _____ がメキシコのアカプルコと結ばれ、ラテンアメリカで生産された⑤ _____ の一部が④ _____ 経由で中国に流入

西・南アジアのイスラーム帝国

1 3つのイスラーム帝国

16世紀以降の西アジア・南アジア

⇒オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国の3つのイスラーム帝国が繁栄

特徴：多数の民族を統合し、国内外の流通も盛んで、国際性が豊か

2 オスマン帝国の繁栄

1453年にコンスタンティノープルを征服し、⑥ _____ 帝国を滅ぼす

*コンスタンティノープルは帝国の首都になり、やがてイスタンブルと呼ばれる

*16世紀半ばの⑦ _____ の時に最盛期

⇒北アフリカからイラク・ハンガリーまでを領域

政策： a 官僚制度の整備・イスラーム法(シャリーア)にもとづく政治

b キリスト教徒・ユダヤ教徒の共同体に自治を認める

c ⑧ _____
⇒フランスなどのヨーロッパ人に領内での居住と通商の自由を公認

⇒⑨ _____ 包囲の失敗(1683年)により領土は縮小に転じる

3 イランの動向

16世紀後半にサファヴィー朝が最盛期を迎える

特徴： a イスラーム教の⑩ _____ を国教とする

b 首都の⑪ _____ は美しいモスク・宮殿・庭園を誇る
⇒⑪ _____ は「世界の半分」

c 生糸を輸出、ヨーロッパ諸国とも通商

⇒サファヴィー朝衰退後、18世紀末にテヘランが首都の⑫ _____ 成立

4 ムガル帝国の盛衰

16世紀にムガル帝国が成立

⇒第3代皇帝⑬ _____ が中央集権的な統治機構を整備、非ムスリムに課せられていた人頭税(⑭ _____)を廃止

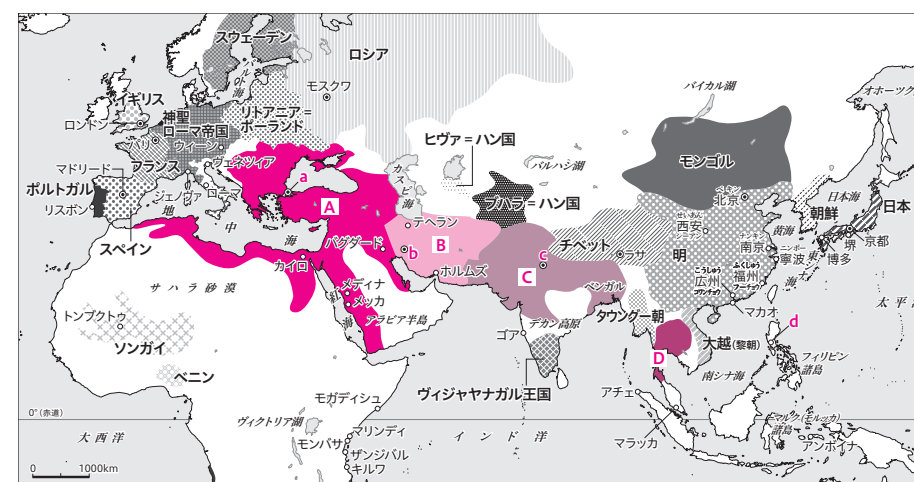
*ヨーロッパ諸国もインド各地に貿易拠点を築き、インド綿織物を東南アジアやヨーロッパに輸出

⇒17世紀後半、⑮ _____ の時代に帝国は最大の版図となる

⇒ヒンドゥー教寺院の破壊や⑯ _____ の復活を命じ、非ムスリムの反発をまねく

⇒⑮ _____ の没後、各地に独立政権が誕生し、帝国は解体へ

Question 下の地図をみて、以下の問いに答えよう。



16世紀末のアジアの諸帝国

1) A～Dの国・王朝の名称を答えよう。

A: _____ B: _____ C: _____ D: _____

2) a～dの都市名を答えよう。

a: _____ b: _____
c: _____ d: _____

テーマの問いに答えよう

アジア諸地域では広大な領域をもつ帝国が繁栄していたが、やがて衰退に向かった。日本は江戸幕府のもと、独自の体制を築いていた。アジアの諸帝国が繁栄できた理由は何だったのだろうか。また、アジア諸国とヨーロッパ諸国の関係はどのようなものだったのだろうか。

テーマの学習の最後に、各テーマの冒頭にある問いに答えるスペースを設けました。学習したことをふまえて、テーマの主題を確認します。



- 図版(写真) 537点
- 地図 114点
- グラフ・図表 187点
- 文字資料 212点

現代の歴史総合

みる・読みとく・考える 改訂版

歴総081-902 AB判(257mm×210mm) 262ページ

【編者】

久保文明 東京大学名誉教授・防衛大学校長
中村尚史 東京大学教授

【著作者】

小田中直樹	東北大学教授	島津 聡	東京都立八王子東高等学校教諭
塩出浩之	京都大学教授	高橋 哲	渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭
島田竜登	東京大学准教授		
守川知子	東京大学准教授	津野田興一	東京都立立川高等学校教諭
吉澤誠一郎	東京大学教授	藤本和哉	筑波大学附属高等学校教諭
荒木圭子	東海大学教授	山川志保	お茶の水女子大学附属高等学校教諭

株式会社 山川出版社

(2025年3月現在)

message



久保文明

(くぼふみあき)

東京大学名誉教授・防衛大学校長

「歴史総合」は、近代・現代を中心に、世界と日本の歴史両方に関連づけて学ぶ新しい科目です。

日本に住む若者として日本の最近の歩みを正確に知っておくことの重要性は、改めて指摘するまでもありません。なぜ明治維新や真珠湾攻撃は起きたのか。どのようにして民主主義が定着し、また繁栄を得たのかなど、知っておくべきことは数多く存在します。

同時に日本の歩みは世界の動きと深く結びついています。ペリー来航、日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦・第二次世界大戦、昭和(世界大)恐慌など、例を挙げればきりがありません。第二次世界大戦終戦後も、占領、冷戦とその終結、2008年の金融危機、最近の新型肺炎問題など、海外とのつながりをもった事例はほとんど無数に存在します。日本が影響を受けた場合もあれば、日本が影響を与えた場合もあります。

日本人が感じている以上に、日本が海外に様々な形で影響を及ぼしていることがあります。第二次世界大戦終戦前までは軍事的な影響力もありましたが、その後は経済、文化、政治など様々な側面で、海外に影響を及ぼしてきました。

現代史は、現段階での人間の歴史の到達点です。同時に、歴史は今この瞬間にも作られています。人間は、そして日本は、これまでに何を達成したのか、これからさらに何を実現すべきなのか、そしてどの方向に歩んでいくべきなのか。本教科書が、皆さんにとって、少しでもこのようなことを考える手がかりになれば幸いです。



中村尚史

(なかむらなおふみ)

東京大学教授

『現代の歴史総合』は、高校生の皆さんに、歴史的思考を身につけていただくための教科書です。

歴史的思考とは、歴史的な事象を総合的・俯瞰的にとらえ、ある時代の歴史像を構築することを目指す思考方法です。この目的に接近するためには、一つ一つの史実の歴史的な背景や意義を、時代の全体状況をふまえて把握することが必要となります。歴史的思考は、過去だけでなく、現在の時代状況を的確に把握するためにも有用です。それは、不確実性が増しつつある今を生き抜くために必要なスキルと言い換えることもできます。そして、このスキルを身につけることは、私たちが歴史を学ぶ最大の目的でもあります。

歴史総合では、近代・現代に焦点をあて、世界と日本の歴史を密接に関連づけながら学んでいきます。この教科書では個々の歴史的出来事理解を前提として、その背景や意義を立体的にとらえるための多くの問いをちりばめました。各単元では、世界と其中的の日本という視点で、それぞれの時代の全体像をとらえられるようになっています。時代の流れを縦軸、同時代的な国際関係を横軸とする主題学習によって、年表や用語の暗記ではなく、能動的に歴史像を構築する力を身につけていただきたいと思います。

能動的な学びによって獲得した歴史的思考は、私たちに正確な現状認識と、次の一步を踏み出す勇気をもたらすに違いありません。

深める歴史

テーマ・資料・問いで考える

1

テーマ学習に即した機能的なレイアウト・設計 ➡p.46-47

- 全体を43のテーマに分け、各テーマは4ページまたは6ページで構成しました。本文は適切な文章量で簡潔にまとめられているため、**資料の読みとときに多くの授業時間を割り当てられます。**
- 本文は、日本と世界が相互に関連していることを意識できるような記述を心がけました。
- 新設した「ポータルサイト」や「授業用動画」、改訂した「準拠ノート」の併用で、**より使いやすくなりました。**
- 見開きごとに、**取り扱い地域を明示するインデックスを追加**しました。

2

資料集に匹敵する、約1,000点の資料を掲載！ ➡p.48-49

- バリエーション豊かな資料で、**深い学び・考える授業の実現をサポート**します。
- 地理的な理解に欠かせない地図や、日本と世界を比較できる年表**もテーマごとに多数掲載しています。

3

問いを見直し、より取り組みやすく改訂！ 約900の問いを掲載！ ➡p.50-51

- テーマの目標となる大きな問いから各資料に付した小さな問いまで、**様々な学習活動に沿った問いを設定**しています。順番に取り組むことによって、テーマが深く理解できる仕組みになっています。
- 問いは、適宜選択し**グループで取り組んだり、生徒同士で意見交換することを想定**しています。主体的・対話的で深い学びを実現します。
- 『教師用指導書 授業実践編』には、授業展開案や問いごとの観点別評価が明記されています。

関連教材

ICT教材

- 教師用指導書 デジタルコンテンツ集**には、教科書の単元ごとの「授業用スライド」や、観点別評価を示した「知識確認問題」「定期テスト問題」などのデジタルコンテンツを収録し、授業をサポートいたします。 ➡p.8
- 10,000点以上の地歴公民デジタルコンテンツを定額制でご利用できる**山川&二宮ICTライブラリ**をご用意しました。上記**教師用指導書 デジタルコンテンツ集**とあわせてご活用いただくことで、ICT活用がさらに充実します。

準拠教材

現代の歴史総合 みる・読みとく・考える 改訂版 ノート B5判 予価880円(税込) ➡p.62
現代の歴史総合 要点整理テスト 改訂版 B5判 予価660円(税込)

補助教材

山川歴史総合 用語解説／同・アプリ付き版 四六判 定価990円(税込)／定価1,650円(税込)
歴史総合問題集 B5判 定価990円(税込)
歴史総合学習のための世界地理 AB判 定価440円(税込)
地図&年表で整理 歴史総合 AB判 定価440円(税込)
ムービー歴史総合 DVD 2枚組 定価22,000円(税込)

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

目次と配当時間例

巻頭付録として、「歴史総合」で扱う以前の
世界を同時代の地図で示しています。

目次

世界のつながり 4
2 世紀の世界 / 8 世紀の世界 / 13 世紀の世界 /
16 世紀の世界 / 18 世紀の世界

歴史の扉① 歴史と私たち 8
現代の私たちと旅

歴史の扉② 歴史の特質と資料 10
歴史資料とは何だろうか

第Ⅰ部 近代化と私たち 12

1 交通と貿易 / 2 移民 / 3 学校教育 / 4 労働と家族 /
5 産業と人口 / 6 権利意識と政治参加、国民の義務

第1章 結びつく世界と日本の開国 18

1 18 世紀の東アジアにおける社会と経済 20
2 貿易が結んだ世界と日本 24
3 産業革命 28
4 中国の開港と日本の開国 34

第2章 国民国家と明治維新 38

1 市民革命 40
2 国民国家とナショナリズム 44
3 明治維新 50
4 日本の産業革命 56
5 帝国主義 60
6 変容する東アジアの国際秩序 64
7 日露戦争と東アジアの変動 68

●近代化と現代的な諸課題 72
① 開発・保全 ② 対立・協調 ③ 自由・制限

第Ⅱ部 国際秩序の変化や 大衆化と私たち 78

1 20 世紀の国際関係の緊密化 / 2 アメリカ合衆国とソヴィエト連邦
の台頭 / 3 植民地の独立 / 4 大衆の政治的・経済的・社会的地位
の変化 / 5 生活様式の変化

第3章 総力戦と社会運動 84

1 第一次世界大戦の展開 86
2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 90
3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 94
4 世界経済の変容と日本 98
5 アジアのナショナリズム 102
6 大衆の政治参加 106
7 消費社会と大衆文化 110

各テーマは、世界と日本を関連づけて記述して
います。

第4章 経済危機と第二次世界大戦 114

1 世界恐慌の時代 116
2 ファシズムの伸長と共産主義 120
3 日中戦争への道 124
4 第二次世界大戦の展開 128
5 第二次世界大戦下の社会 134
6 国際連合と国際経済体制 138
7 占領と戦後改革 142
8 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 146
9 日本の独立と日米安全保障条約 150

●国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 154
① 対立・協調 ② 統合・分化 ③ 平等・格差

第Ⅲ部 グローバル化と私たち 160

1 冷戦と国際関係 / 2 人と資本の移動 / 3 高度情報通信 /
4 食料と人口 / 5 資源・エネルギーと地球環境 / 6 感染症 /
7 多様な人々の共存

第5章 冷戦と世界経済 168

1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化 170
2 東西両陣営の動向と 1960 年代の社会 176
3 軍拡競争から緊張緩和へ 182
4 地域連携の形成と展開 186
5 計画経済とその波及 190
6 日本の高度経済成長 194
7 アジアのなかの戦後日本 198

第6章 世界秩序の変容と日本 202

1 石油危機 204
2 アジア諸地域の経済発展 208
3 市場開放と経済の自由化 212
4 情報技術革命とグローバル化 216
5 冷戦の終結とソ連の崩壊 220
6 現代のアジア・アフリカ・ラテンアメリカ 224
7 地域統合の拡大と変容 230
8 地域紛争と国際社会 234
9 現代と私たち 240

●現代的な諸課題の形成と展望 242

年表 244
索引 250

現代の世界 / 東アジア・東南アジア地域 表見返し

地球温暖化が関係していると考えられる現象 /
石炭・天然ガス・石油・ウラン産地とエネルギー供給 /
世界の自然 裏見返し

配当時間
例月/時数

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

9月/7

合計70時間

予備2

9月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3月/6

4月/5

5月/5

6月/8

7月/6

8月/6

9月/7

10月/7

11月/6

12月/6

1月/6

2月/6

3

1. テーマ学習に即した機能的なレイアウト・設計

教科書を「テーマ全体の問い」「導入図版と問い」「テーマへのアプローチ」「本文と対応した資料と問い」と、取り組みやすいように構造的なレイアウトにしました。

テーマと問い

テーマ全体の課題意識を提示します。

導入図版とアプローチ

テーマの理解を段階的に進めることができます。

18世紀の東アジアにおける社会と経済

18世紀の中国と日本で、流通網が発達したのはなぜだろうか？



- テーマへのアプローチ
- 18世紀の中国経済の発展に、どのような商品やモノが影響を与えたのだろうか。
 - 繁栄する18世紀の東アジアのなかで、中国と日本の共通点と相違点はどこにあったのだろうか。
 - 徳川幕府の仕組みは、どのような形で経済の発展に影響を与えたのだろうか。

20 ※1※ 結びつく世界と日本の開国

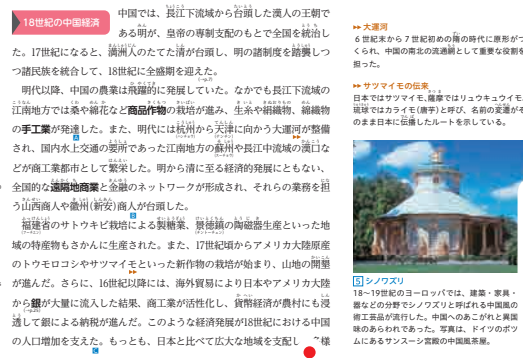
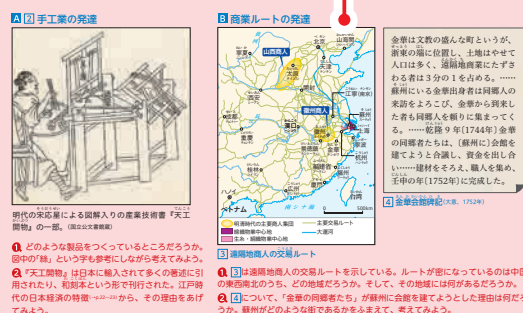
年表・地図

このテーマに関わるできごとや、その前後の流れを確認するための年表や地図です。
本文の内容を整理したり、日本と世界の動きを比較したり、知識の補足として利用できます。
また、巻末年表（教科書p.244-249）とも対応しています。

ポータルサイト

テーマページ冒頭の2次元コードより、ポータルサイト内の該当テーマのページをご覧ください。

New!



本文

1単元で読みこなせる分量となるよう、必要な用語は維持しながら、経緯などの細部はできるだけ簡潔な記述を心がけました。

グラフや地図

カラーユニバーサルデザインに則り、読みとりやすい配色や線種で作製しています。



文字資料

素早く内容を理解することを重視して、現代語訳で示しています。分量の多い資料の場合は下線を示して主旨を理解しやすくしています。

インデックス

各テーマで取り扱っている地域を示すインデックスを追加しました。

New!

用語解説

- アイデンティティ**
自己同一性。個人や集団が、みずからをほかの個人や集団から区別する根拠のこと。価値観や宗教、言語・文化・外見など様々なものが根拠となる。
- 主権国家**
1つの政府が外部からの支配や干渉を受けずに、国境の内部を統治する独立国のこと。
- 関税自主権**
国家がみずからの主権にもとづき、関税の対象物品や税率などを自主的に定めることができること。
- 電子商取引(EC、Electronic Commerce)**
コンピュータのネットワーク上で電子的に契約や決済といった商取引をおこなうこと。インターネット通販や株式などのオンライン取引を指す。Amazon(アメリカ)・アリババ(中国)・楽天(日本)などのEC企業がある。
- 仮想通貨**
紙幣や硬貨のような現金ではなく、電子データのみでやりとりされる通貨。おもにインターネット上で取引に用いられ、特定の国家による保証はないものの、投資対象として広がりをみせている。

人物コラム

歴史への興味・関心は人物を通して高まることから、各テーマ1~2名を取り上げ、紹介しています。

テーマのポイントとなる用語には解説を付しています。歴史用語だけでなく、現代社会における基本的な教養として重要と思われる概念用語や経済用語も取り上げています。

GNPとGDP
GNP(Gross National Product、国民総生産)とGDP(Gross Domestic Product、国内総生産)は、いずれもある国で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額であり、国の実体経済を表す指標とされる。GDPの対象は「国内」であるため、たとえば日本企業が海外で生産したモノやサービスの付加価値は含まない。一方、GNPは「国民」を対象としているため、国内に限らず日本企業の海外支店などの所得も含んでいる。グローバル化の進展にともない、企業の海外活動が活発化し、GNPが国内の経済活動を正確に反映できなくなったため、現在ではおもにGDPが用いられている。

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

2. 資料集に匹敵する、約1,000点の資料を掲載！

資料は、風刺画・ポスター・新聞記事・グラフ・地図・年表など、多様な種類について、定番なものから新鮮なものまで、幅広く掲載しました。

1 アメリカの雑誌に掲載された風刺画(Puck Magazine, 1893年)

① 上の人々と下の人々の、対照的な点は何だろうか。
② このような境遇の違いが生じたのはなぜだろうか。

印象に残る図版

直感的に読みとりやすく、時代の様子が感じられる図版を意識して取り入れました。特に風刺画は生徒の興味を引きやすく、意見も出しやすいため、豊富に掲載いたしました。

1 1920年代のニューヨーク

2 世界地図の縮小版(単位: 1000 km)

3 コカ・コーラのポスター(1920年代)

4 ソビエト連邦のポスター(1920年代)

① ①-③から読み取れる、1920年代のアメリカの特徴は何だろうか。
② ④でレーニンに描かれているのは、どのような人々だろうか。

アメリカ合衆国	西ヨーロッパ諸国	ソ連/東ヨーロッパ諸国	日本
1940 北大西洋条約機構(NATO)結成	ベルリン封鎖解除 ドイツ連邦共和国(西ドイツ) ドイツ民主共和国(東ドイツ)		
1950 「赤狩り」嵐	シムーン・プラン発表	中ソ友好同盟相互援助条約	朝鮮戦争の終結
1951 太平洋安全保障条約(ANZUS)			サンフランシスコ平和条約 日米安全保障条約
1952 水爆実験成功	ECSC 発足		
1953 アイゼンハワー大統領就任(伊)		スターリン死去 反ソ運動(東ドイツ)	
1954 ジュネーブ国際会議(仏) アルジェリア独立戦争(仏)			第五福竜丸事件 自衛隊発足
1955 バズ・ボイコット運動(米) 西ドイツ、主権回復 西ドイツ、NATOに加盟 ジュネーブ4巨頭会談(西ドイツ、ソ連と国交回復)		フルシチョフのスターリン批判 コミンフォルム解散 ポーランド反ソ運動 ハンガリー事件	第1回原水爆禁止世界大会
1956 第2次中東戦争に英・仏出兵			日ソ共同宣言 国際連合加盟
1958 EEC・EURATOM結成 第五共和政(仏)			
1959 フルシチョフ訪米	ド・ゴール大統領就任	フルシチョフ訪米	安保闘争
1960 リ2 専門家委員会 EFTA 結成			日米新安全保障条約
1961 ケネディ大統領就任(伊)		ベルリンの壁建設	
1962 キューバ危機	アルジェリア独立承認(仏)	キューバ危機	
1963 部分別核実験禁止条約(米・英・ソ)フランスは調印拒否/米ソ間のボットライン ジョンソン大統領就任(伊)			
1964 公民権法成立	中華人民共和国内閣承認(仏)	ブレジネフ第一書記	オリンピック東京大会
1965 北越・ベトナム戦争	NATO軍事部門離脱(仏)		日韓基本条約
1966			
1967 EC結成			
1968 キング暗殺	五月危機(仏)	「プラハの春」	
1969 ニクソン大統領就任(伊)	ブラント内閣(西ドイツ)		

世界と日本の動きを関連づけた年表

そのテーマに即して整理した年表で、タテとヨコのつながりの理解と定着に役立ちます。

新聞記事や経済のグラフを多数用意するなど、歴史的見方とともに現代の政治や経済の視点からも考察ができるように工夫しました。

1 情報化社会の進展

国	2017年	2021年(推定)
アメリカ	4,520	11,150
イギリス	1,130	1,610
ドイツ	950	1,110
フランス	650	740
中国	480	740
インド	210	500
インドネシア	82	190
ブラジル	45	74
ロシア	38	48
マレーシア	24	50
シンガポール	24	36
タイ	21	28
フィリピン	4	8

① 市場規模の成長が著しいのは、どのような国だろうか。日本はどのような特徴があるだろうか。
② 情報化社会の進展が生み出したものは何だろうか。プラスとマイナスの両面について取り上げてみよう。

2 衆院にサイバー攻撃

3 東京証券取引所のハッキング

4 世界地図の縮小版(単位: 1000 km)

5 貿易自由化について、先進国と新興国では、それぞれどのような議論が展開されるだろうか。

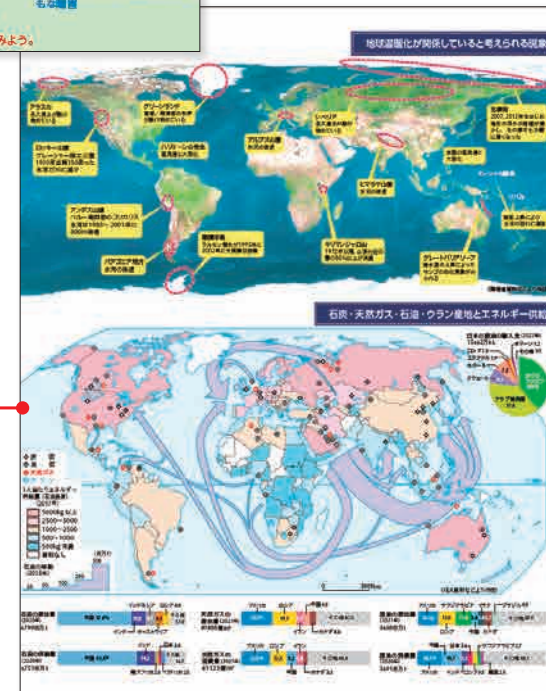
1 全世界の所得上昇率

① 所得が伸びているのは、どのような国・地域、階層の人々だろうか。なぜ伸び悩んでいるのだろうか。

2 TPP

② TPP加盟について、日本にとってのメリットとデメリットは何だろうか。
③ 貿易自由化について、先進国と新興国では、それぞれどのような議論が展開されるだろうか。

地理の地図帳に掲載されているものと同じ「世界の自然」や、「地球温暖化が関係していると考えられる現象」「石炭・天然ガス・石油・ウラン産地とエネルギー供給」などのデータ資料を巻末に掲載しています。



『教師用指導書 授業実践編』より

1 アメリカの雑誌に掲載された風刺画(Puck Magazine, 1893年)

解説 上の4人(SAGE, FIELD, GOULD, VANDERBILT)は著名な資本家で、大きくふくらませたお腹にはドルマークが描かれている。下で支えている人々は労働者だろう。一様に苦しい姿勢をとらされている。両者の間には「IRON WORKER \$7 A WEEK」など、業種ごとの平均週給も書き込まれている。労働者の足元に寄せる波紋の文字は「HARD TIMES」と読める。原題は「The protectors of our industries」である。

① 上の人々と下の人々の、対照的な点は何だろうか。
② ②のグラフから、イギリス社会のどのような変化が読みとれるだろうか。
③ ③のグラフから、イギリス社会のどのような変化が読みとれるだろうか。
④ 技術革新と交通手段の改良

2 イギリスの労働力の割合(単位: %)

解説 19世紀を通じてイギリスの産業構造の変化を読みとりたい。労働力の面では、サービス業に大きな変化がない一方で、農業から工業への転換が見受けられる。生産量の面でも、農業の割合は大幅に減り、工業・サービス業が割合を増やしている。なお、労働力の割合の推移については、教p.13に日本とアメリカの統計があるので比較するとよい。

① ②のグラフから、イギリス社会のどのような変化が読みとれるだろうか。
③ ③のグラフから、イギリス社会のどのような変化が読みとれるだろうか。
④ 技術革新と交通手段の改良

※資料と問いは豊富に掲載されています。全てに取り組む必要はなく、授業の進度に合わせて適宜選択してください。※授業で使用しなかった問いは、定期試験で取り上げるなど、幅広くご利用いただけます。

※紙面は改訂前のものです。一部変更の可能性がございます。

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

3. 問いを見直し、より取り組みやすく改訂！ 約900の問いを掲載！

「背景や原因の追究」「推移・影響の理解」「複数の資料やデータの比較」など、様々な学習活動を促す問いを、掲載しました。

7 地域統合の拡大と変容

地域統合は、人々や社会にどのような影響をおよぼすのだろうか？

1 ユーロ硬貨の図柄
一枚は各国共通の面、ほかは各国の面、左から前国王アルベール2世(ベルギー)、国章の鷲(ドイツ)、国民文学の祖ダンテ(イタリア)が描かれている。

2 ユーロ紙幣
紙幣については、表には窓、裏には橋をモチーフとした各国統一の絵が採用された。たとえば20ユーロはゴシック様式、50ユーロはルネサンス様式による窓型の建築を模倣している。

3 EUのポスター
「MANY TONGUES ONE VOICE」とはどのような意味か。それは実現しているのだろうか。

1 地域統合にはどのような種類があるのだろうか。

2 それぞれの国で、どのような人々が地域統合を推進したり、反対したりするのだろうか。

3 それぞれの地域統合が直面している新たな問題は何だろうか。

4 おもな国際機構と地域統合

テーマ全体の問い
このテーマで考えたい事柄が、問いの形で示されています。

導入の問い
ビジュアルな図版と導入の問いで、生徒の興味・関心を高めます。

テーマへのアプローチ
「テーマ全体の問い」を解くための、段階的な課題となる、3つのアプローチです。アプローチは、本文の小見出しなど、適切なまとまりごとに設定されています。

『教師用指導書 授業実践編』より

出し合い)、宿泊施設を設けたり、故郷の科学受験者を援助したりするなど相互扶助(「同郷人を頼りに集まって」)をおこなった。そのための施設を会館と呼ぶ。

④より、「金華の同郷者たち」が蘇州に会館を建てようとした理由は何だろうか。

解答例 同郷者たちが、情報交換や相互扶助をおこなって、遠隔地商業を進める拠点を必要としたため。

⑤ シノワズリ

解説 イエズス会宣教師による中国文化や文物の紹介、そして中国の組織物や陶磁器などへのあこがれから、シノワズリがヨーロッパの上流社会で流行した。産業革命が始まるまでは、工業製品などにおいて、ヨーロッパよりも中国の方が上回っていたこととあわせて。

アプローチ① 解答例 桑や綿花などの商品作物栽培により絹織物・綿織物業が発展し、砂糖や陶磁器なども生産された。また、トウモロコシやサツマイモなどの新作物が栽培され、日本やアメリカ大陸の銀が流通した。

⑥ 18世紀の人口増加

⑦ 中国・日本の推定人口の推移

解説 日本と中国で折れ線グラフの単位が一桁違うのに注意して欲しい。1720年頃までの推移は日中ともに増加し、

率低下した。また、山間部の開墾によって森林資源が枯渇し、土壌流出などの環境破壊が引き起こされたことで、農民たちの生活が破壊され、四川を中心とした白蓮教徒の乱(1796～1804年)の背景となった。

⑧より読みとれる、18世紀の中国が抱えた問題は何だろうか。

解答例 耕地面積の拡大よりも人口の増加が上回り、土地や家屋の不足に人々が苦しんだ。

アプローチ② 解答例 遠隔地商業が発展し、貨幣経済が農村にまで浸透したことは共通しているが、全国的な統一市場が形成された日本とは異なり、中国では地域ごとの経済ネットワークが存在していた。

⑨(2)18世紀の日本社会

⑩ 江戸時代の日本の国制

解説 江戸時代の日本には、幕府(公儀)と朝廷(禁裏)という2つの中心があり、幕府のまわりに260あまりの大名が連合するという複合国家であった。大名は全国の石高の約4分の3を占め、領内において家臣団の編成、立法、裁判、裁罰、民政などの権限を握っていた。さらにここでは身分制の存在や、朝廷の権威が幕府から自立している点に着目

※紙面は改訂前のものです。一部変更の可能性がございます。

問いの解答例は、『指導者用デジタル教科書』や『教師用指導書 授業実践編』で参照できます。

産業革命によって人々は豊かになったのだろうか。それとも貧しくなったのだろうか。

A アジアの豊かさ。ヨーロッパ諸国は貿易を拡大する大きな動機となった。ヨーロッパの輸出は、やがてアジア諸国に集中していった。また、アジアの諸国はヨーロッパでもっとも豊かになる動機となった。

『指導者用デジタル教科書』より

本文と対応した問いを、豊富に掲載しました。これらの問いに取り組むことで「テーマへのアプローチ」を考え、最終的には「テーマ全体の問い」にたどり着ける構成にしました。

13 通信手段の発達

1857年	イギリス・フランス
1858年	イギリス・アイスランド
1859年	イギリス・リブール・マルク・コンスタント・イギリス・ビザンティン・ギリ(東部ケーブル)
1860年	イギリス・ニューファンドランド(大西洋横断ケーブル)
1861年	イギリス・リブール・マルク・コンスタント・イギリス・ビザンティン・ギリ(東部ケーブル)
1862年	インド・シンガポール・香港・上海
1863年	シンガポール・ジャバ・オーストラリア
1864年	オーストラリア・ニュー・ゼaland
1865年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1866年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1867年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1868年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1869年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1870年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1871年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1872年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1873年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1874年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1875年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1876年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1877年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1878年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1879年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1880年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1881年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1882年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1883年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1884年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1885年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1886年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1887年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1888年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1889年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1890年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1891年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1892年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1893年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1894年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1895年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1896年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1897年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1898年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1899年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1900年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1901年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1902年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1903年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1904年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1905年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1906年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1907年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1908年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1909年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1910年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1911年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1912年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1913年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1914年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1915年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1916年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1917年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1918年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1919年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1920年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1921年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1922年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1923年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1924年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1925年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1926年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1927年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1928年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1929年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1930年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1931年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1932年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1933年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1934年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1935年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1936年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1937年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1938年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1939年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1940年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1941年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1942年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1943年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1944年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1945年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1946年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1947年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1948年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1949年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1950年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1951年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1952年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1953年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1954年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1955年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1956年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1957年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1958年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1959年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1960年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1961年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1962年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1963年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1964年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1965年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1966年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1967年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1968年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1969年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1970年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1971年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1972年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1973年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1974年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1975年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1976年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1977年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1978年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1979年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1980年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1981年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1982年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1983年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1984年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1985年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1986年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1987年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1988年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1989年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1990年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1991年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1992年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1993年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1994年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1995年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1996年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1997年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1998年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
1999年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2000年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2001年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2002年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2003年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2004年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2005年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2006年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2007年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2008年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2009年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2010年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2011年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2012年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2013年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2014年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2015年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2016年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2017年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2018年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2019年	パシフィック・フィジー・オーストラリア
2020年	パシフィック・フィジー・オーストラリア

⑭ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

⑮ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

⑯ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

⑰ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

⑱ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

⑲ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

⑳ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉑ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉒ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉓ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉔ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉕ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉖ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉗ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉘ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉙ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉚ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉛ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉜ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉝ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉞ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㉟ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊱ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊲ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊳ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊴ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊵ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊶ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊷ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊸ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊹ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊺ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊻ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊼ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊽ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊾ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

㊿ 1902年に完成した電報ケーブルの世界一周ネットワーク

ポスターの問い

地図・表の問い

自由・制限をめぐる葛藤が生じるのは、なぜだろうか？

イギリスでは

……私は自由貿易原理のうちに、宇宙における重力の原理をみているのです。すなわち、人々を一緒に引き寄せ、民族とか、教義とか、言語とかの敵対を押し付け、私たちが永遠の平和の絆で結びあわせる原理をみているのです。

……人々は一つの家族となり、相互に兄弟となつて自己の労働の果実を自由に交換しようようになる時がやってくる、このようなものは必要でなくなり、使われなくなると信じています。

(歴史学博士「自由貿易の原理」)

日本では

自由貿易は農業に大打撃を与える。イギリスでは1846年に穀物法を廃止したのがいい例である。「工場労働者の賃金は食料価格で左右されるから、食料価格は安いほうがいい。そのため、保護税を廃止して、穀物を自由に輸入するべきだ」とは、当時の商工部主税の言葉である。その意見を取り入れ、アメリカやインドから無関税で大量に食料を輸入した結果、イギリス国内の穀物価格は大きく下落したが、同時に農業は衰退した。

(上掲「日本経済史」)

自由主義政治家コブデンの演説(1846年)

コブデンは、サンチェスターで綿工業を営み成功した産業資本家。時の保守党政府の保護貿易主義に反対し、自由貿易主義への転換を進める運動の指導者となった。1846年には、下院議員としてサボレル3世(在任1852～70)統治下のフランスと交渉し、フランスに輸入制限を撤廃させた。

コブデン

ドイツでは

強大な富と力を獲得するために必要な資源を確保した国民が、進歩の過程において、いかに経済体制を変化させるべきかについては、歴史が教えてくれる。第1段階では、野蛮な状態を脱し、農業を発展させるために、先進国と自由貿易をおこなう。第2段階では保護貿易により、製造業・商業・海運業の成長を促進する。第3段階、すなわち富と力が最も高水準に達したのち、自由貿易および市場競争の原則にもとづき、農工商業従事者の勤労意欲と国民の経済的優越を維持する。

(リスト「国家学」)

1846年の政治ポスター

このポスターは、どんな立場から描かれたのだろうか。

ドイツがとるべき工業化の道(1846年)

リストは、近代ドイツを代表する経済学者であり、ドイツの鉄道建設など近代化にも貢献した人物である。

貿易の自由・制限の選択は、どのような時に求められるのだろうか。次の表を使って整理しよう。

	立場	主張	背景
コブデン			19世紀半ばのイギリスの産業の状況
リスト			19世紀半ばのドイツの産業の状況
河上肇			20世紀初頭の日本の産業の状況

これまでに学んだことから、「自由・制限」に当てはまるものを書き出してみよう。また、私たちが生きる現代社会においても「自由・制限」に関係すると考えられる事例はないだろうか。あなたが気付いたことを書いてみよう。

※資料と問いは豊富に掲載されています。全てに取り組む必要はなく、授業の進度に合わせて適宜選択してください。
※授業で使用しなかった問いは、定期試験で取り上げるなど、幅広くご利用いただけます。

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

授業展開例① 学習指導要領に沿った学習の流れ

歴史の扉①歴史と私たち 現代の私たちと旅

教科書p.8-9

「旅（観光旅行）」を取り上げ、日本での広がりや海外旅行が身近になった背景について学び、**身近な事例のなかに歴史があり、世界とつながっていることに気づく**ようにします。



歴史の扉②歴史の特質と資料 歴史資料とは何だろうか

教科書p.10-11

歴史資料とはどのようなもので、どのように活用するかを、「大日本帝国憲法の発布」に関する様々な資料（公文書・絵画・日記・新聞記事）を事例に学びます。当時の状況を知る手がかりとして、**歴史資料の重要性に気づく**ようにします。



第I部 近代化と私たち (近代化への問い)

教科書p.12-17

学習指導要領「近代化への問い」で取り上げられている「交通と貿易」「移民」「学校教育」「労働と家族」「産業と人口」「権利意識と政治参加、国民の義務」の6項目について資料を豊富に掲載しています。授業では項目1つを選択し、**資料を読みとく技術**を培いながらこれから学ぶ「近代化」について、**疑問や課題意識を持つ**ようにします。

→テーマ史の授業展開例 p.56-57



生徒自身に取り組んでほしい課題のページには**キャラクター**を付し、ナビゲートしています。

第1章 結びつく世界と日本の開国

教科書p.18-19

このページでは**章の概観**を示しています。年表や図版で時代の大まかなイメージをつかみます。また、**学習を深めるウェブサイトも紹介**しています。

第1章のテーマ1~4

教科書p.20-37

第1章は18世紀の経済活動について、4つのテーマで構成しています。1テーマ4ページから6ページで構成し、**1テーマ1単元（または2単元）で完結**するよう、本文の分量にも留意して紙面作りをおこないました。

→詳しくは p.54-55



第2章 国民国家と明治維新

教科書p.38-39

章の概観です。

第2章のテーマ1~7

教科書p.40-71

第2章は国民国家の形成や立憲体制、帝国主義などについて7つのテーマで構成しています。



近代化と現代的な諸課題

教科書p.72-77

第I部の**まとめのページ**です。学習指導要領にある観点から、「開発・保全」「対立・協調」「自由・制限」を取り上げました。過去の人々が課題に対してどのような取り組みをおこなったかを資料を読みとく振り返り、**現代の諸課題について自ら課題を設定して考え**ます。



改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

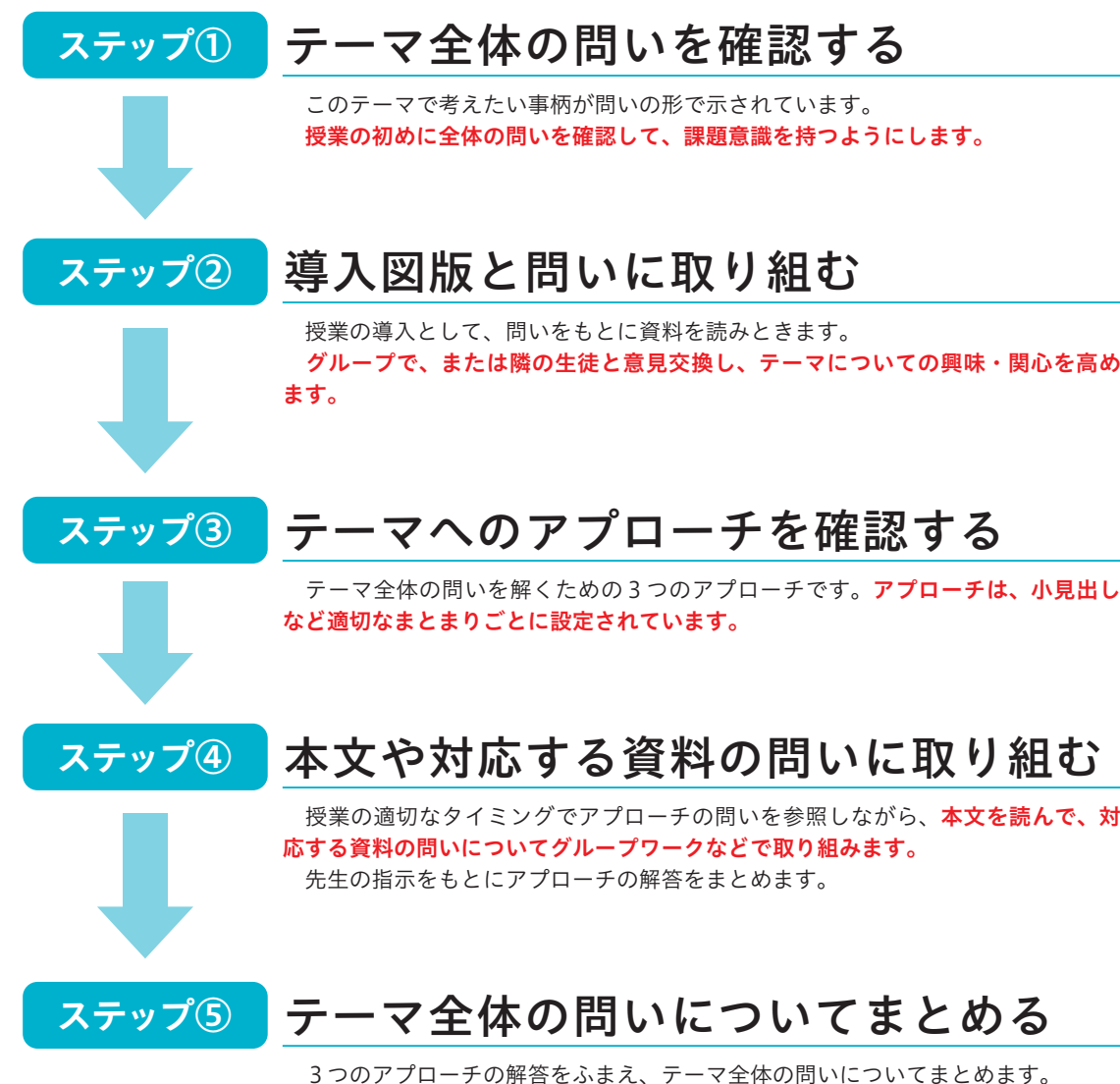
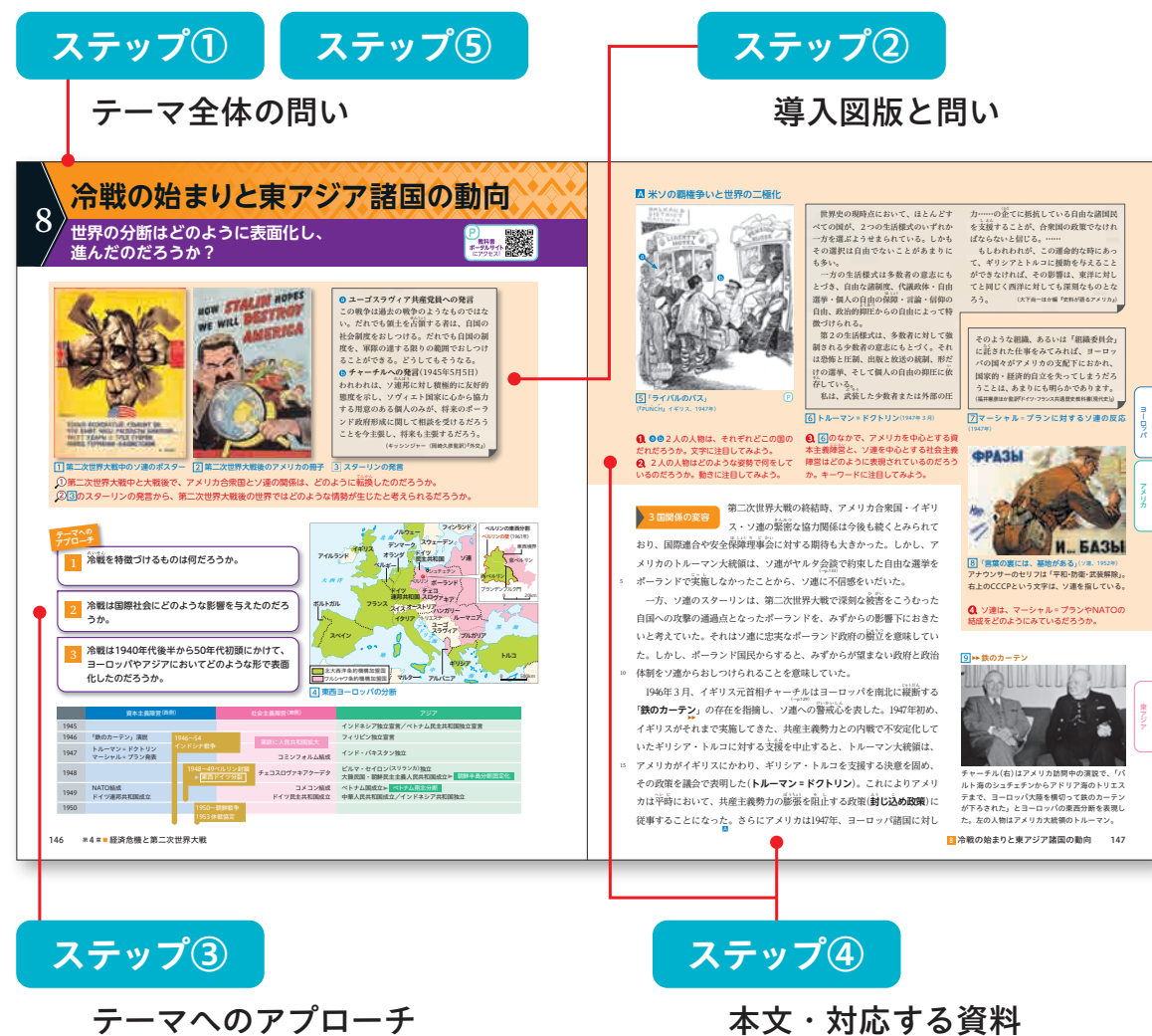
日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

授業展開例② 各テーマページの進め方



New! 予習・復習に使える解説動画が登場！ →p.61

教師用指導書 デジタルコンテンツ集をご購入いただくことで、新たに授業用動画をご利用いただけます。

- ・事前に教科書の内容を生徒が理解することで、よりスムーズな授業を実現します。
- ・授業では、教科書本文に割く時間を短縮し、より探究的な取り組みを中心とした内容に集中することができます。

New! 新しくなった準拠ノートの併用でスムーズに！ →p.62-65

教科書の本文・問いへの取り組みを力強くサポートするかたちに、準拠ノートを改訂しました。教科書と併用することで、時間短縮しながら質を高めることができます。

より具体的な授業展開例は、『教師用指導書 授業実践編』に全て掲載しています。

『教師用指導書 授業実践編』より

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
導入①①、導入②③①、③②②、③③②、④①④、④⑥⑥①、④⑦②	導入①②、④⑤①、④⑥②③、④⑧①～④⑧③③、④⑨①、④⑩②、④⑪②③	③⑧④、④⑩⑥③	
学習活動		指導上の留意点	
導入 5分	②①の風刺画をみて、上と下の人々の対照的な点を書き出す。 上と下の人々の境遇の違いが生じた原因を想像する。㉠ ④⑨産業革命に関連する単語をあげ、グループで共有する。㉡	②⑨適宜ヒントを与え、服装や人数の違いに気づかせる。 ④⑨中学校で学んだ産業革命が一因であることを示唆し、産業革命に関連する単語をあげさせる。	
展開 25分	アローチ① 産業革命は、なぜイギリスで始まったのだろうか。 ▶(1)技術革新 ④⑨Aから資本があったこと、A⑤から綿製品の輸入代替には大きな商機があったことを読みとる。 ④⑨一般論として、生産意欲や技術革新への気運が高まる(㉢大量につくりたくなる)要因となるものを考えたうえで、権利の章典による私的所有権の保障がイギリスの人々の意欲を高めたことを理解する。 ④⑨大量生産に向く商品について考察し、機械化することの効果を理解する。㉣	④⑨イギリスがほかより諸条件を満たしていたことを指摘し、その諸条件を具体的に考えさせる。 ④⑨権利の章典について、私的所有権にしばって解説する。 ④⑨現在において大量生産するのならどんなものがよい(儲かる)だろうか？と問	

※紙面は改訂前のものです。一部変更の可能性がございます。

授業展開例③ テーマ史ページでのアクティブラーニング

第Ⅰ～Ⅲ部の冒頭にある資料のページは、テーマ史のアクティブラーニングとしても活用できます。
「第Ⅰ部 近代化と私たち」の「移民」(教科書p.13)を例に、授業の一案をご紹介します。

この授業は、「移民」を国際的な労働力の移動という観点でとらえ、そこに発生してくる問題を考えさせることをねらいとしています。グループワークを通して教科書から得た「知識」をもとに「思考・判断・表現」するアクティブラーニングによる授業展開の一例です。



導入

T Teacher

T (新聞記事や雑誌などに掲載された日本のコンビニや工場、畑で働く外国人労働者の写真をスライドにして提示する。) これらの写真を見て気づいたことを発表しよう。

T 多くの人々が自国を離れ、外国で働くことは以前からあった。教科書p.17の①・②の地図(「国際労働力移動のおもな流れ」)を見て確認しよう。

S Student

S 各自が気づいたことを発表する。【たくさんの外国人が日本人と一緒にいろいろなところで働いている】



展開

1. 国際労働力の移動

T 教科書第Ⅰ部の「移民」に関する箇所にマーカーで印をつけよう。

S 各班内で第Ⅰ章の1～4、第Ⅱ章の1～7を分担して読み込み、印をつける。

T 印をつけた箇所を1500～1820年、1820～1940年の2つの時期に分け、例に従って内容を表に簡潔にまとめてみよう。

S 班内で印をつけた箇所を確認し合い、各自が2つの時期に分けて内容をまとめる。

例)

時 期	移民に関する出来事
1500～1820年	p.26 18世紀 ：(中国→東南アジア) 中国(清)の国際貿易が発展し、東南アジアから胡椒や米・蘇木・海産物を輸入する一方、 中国移民が東南アジアに向かった 。 p.48 18世紀後半 ：(ヨーロッパ諸国→アメリカ) 独立を実現したアメリカでは、広大な国内市場向け商品生産のため北東部では工業、中西部・南部では農業が発展し、その労働力として ヨーロッパ諸国から大量の移民が受け入れられた 。
1820～1940年	p.32 19世紀前半 ：(移民の増大) 蒸気船や蒸気機関車の広まり、運河の建設など 交通手段の発達(速度や輸送人数)により移民が容易になった 。 1840年代 ：(アイルランド→アメリカ) 主食のジャガイモの不作による飢饉のため アイルランドから200万人以上がアメリカを中心とする外国に移住した 。 ...

T まとめた「移民」の表にもとづいて教科書p.13のQ2の答えを考えて発表しよう。【「移民」の表からは、直接Q1の答えを見つけることはできないのでQ2からはじめる】

S 各班の代表がQ2の答えを発表する。【アメリカのイギリスからの独立。アメリカが広大な国内市場向け商品生産の労働力として欧州移民を大量に受け入れ】

T つぎに、p.48の印をつけた「移民」に関する箇所の少し先まで読んで、教科書p.13のQ1の答えを考えて発表しよう。

S 教科書p.48を読み、Q1の答えを発表する。【黒人奴隷制度にもとづくプランテーション農業とリンカンによる奴隷解放宣言】

T (黒人奴隷制度に関する補足) 教科書p.41の黒人奴隷に関する箇所に印をつけよう。

S 教科書p.41を読み、黒人奴隷に関する箇所にマーカーで印をつける。(アフリカからの黒人奴隷の連行を確認させる)

T 「黒人奴隷」と「移民」との違いについて説明しよう。

S 「黒人奴隷」と「移民」の違いについて説明する。【連行されてきた奴隷、自らの意志にもとづく移民】

2. 移民の増加と移民排斥

T ④の漫画と「移民」の表をもとにQ4の答えを考え、移民が外国で働くこと、移民を受け入れる国の理由を説明しよう。

S 「移民が外国で働くこと、移民を受け入れる国の理由」を説明する。【移民は自国より良い労働条件と生活を求めて、受け入れ国は不足する労働力の補填、また安価な労働力として】

T 移民を受け入れることにメリットがあるにもかかわらず、受け入れ国で③の絵に見られるような排斥運動が起きるのはなぜだろう。「移民」の表をもとに考え発表しよう。(Q3の答え)

S 移民排斥運動が起きる理由を発表する。【受け入れ国の労働者や西欧からの白人移民労働者との利害対立】

まとめ

T (p.93の移民法、p.231の移民・難民についての記述を参照) 移民の問題を考える際には、移民を出した地域の事情と、それを受け入れる国の状況、それぞれの変化などに留意することが大切。

T ここまでの学習を振り返って、もっと知りたいと思ったことや、考えてみたいと思ったことを、「問い」の形で表現してみよう。

S ページ下部の記入欄に、考えたことを「問い」の形で記入する。

教師用指導書 デジタルコンテンツ集

収録予定コンテンツ一覧

コンテンツ名		ファイル	内 容
授業準備・授業	教科書紙面	PDF	教科書全ページの紙面データ
	指導書紙面	PDF	指導書全ページの紙面データ
	教科書本文テキスト	txt	本文・注・史料のテキストデータ
	教科書掲載地図・図表データ（カラー）	PNG	地図・図表のカラー画像データ
	教科書掲載地図・図表データ（モノクロ）	PNG	地図・図表のモノクロ画像データ
	教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	問いと解答例の一覧
	レイヤー分け地図データ	PDF	レイヤーで表示内容が選択できる地図データ
	白地図	PNG	プリント用・黒板用の画像データ
	授業用スライド	PowerPoint Googleスライド	各テーマごと、教科書に準拠したスライド
	準拠ノート対応スライド	PowerPoint Googleスライド	各テーマごと、準拠ノートの内容にあわせたスライド
授業・評価	準拠ノート紙面（解答あり／なし）	PDF	準拠ノートの紙面データ
	準拠ノートテキスト	Word	準拠ノートのテキストデータ
	「〇〇化への問い」「〇〇な諸課題」へ取り組むためのワークシート	Word	特集ページへ取り組むためのワークシート
	知識確認問題 ※〈知識・技能〉対応	Word Googleフォーム Microsoft Forms	各テーマごと、一問一答／選択式の問題
	定期テスト問題 ※〈知識・技能〉〈思考・判断・表現〉対応	Word	各テーマごと、穴埋め／会話文形式の問題
	自己評価・振り返りシート ※〈主体的に学びに向かう態度〉対応	Word	自己評価や授業の振り返りが行えるプリント
	大学入学共通テスト過去問題	PDF	試行問題～2026年度の問題を収録
	歴史総合学習のための世界地理	PDF	同名教材の紙面データ
	授業用動画	MP4	各テーマの概要を解説した動画43本 本文の小見出しに対応した各項目解説動画167本
	年間指導計画表・評価規準例	Excel	カリキュラムに合わせて編集・加工が可能

※これらのコンテンツは制作中のため内容・仕様は一部変更の可能性がございます。

授業用動画

New!

■概要解説動画

各テーマごとに概要をまとめた動画です。
テーマ全体の問いに触れたのち、取り扱う項目の概要を解説しています。

1 18世紀の東アジアにおける社会と経済

18世紀の中国と日本で、流通網が発達したのはなぜだろうか？



この図は、18世紀の東アジアの貿易網を示しています。中国と日本の貿易ルートが、大連湾を介して繋がっていることがわかります。また、中国と日本の貿易ルートが、大連湾を介して繋がっていることがわかります。

18世紀の中国経済

- ・明→清：18世紀に全盛期
- ・農業の発展…江南地方＜商品作物，手工業＞
- 遠隔地商業，金融のネットワーク
- 人口急増

18世紀の日本社会

- ・江戸時代→幕府が実権＜直轄領，藩＞
- ・身分制度 百姓が年貢を生産→武士が徴収
- 財政基盤とする

18世紀の日本経済とその変容

- ・徳川吉宗による享保の改革→年貢収納率上昇
- ・17世紀末～商品生産の活性化
- 三都＜大坂，江戸，京都＞を中心に全国市場に
- ↳「天下の台所」
- ・18世紀末 遠隔地海運
- ・商品作物生産→貨幣経済の浸透→階層分化

サンプル動画



■各項目解説動画

教科書本文の小見出しに対応した、各項目について解説した動画です。
教科書の記述をまとめつつ、図版についても解説をしています。

18世紀末 遠隔地海運発達→西日本で流通

〈蝦夷地～西日本〉長崎で輸出(倭物)



この図は、18世紀末の遠隔地海運のルートを示しています。長崎を起点として、西日本へと広がっていることがわかります。

サンプル動画



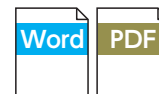
- ・動画は予習での活用がおすすめです。事前に生徒へ配信しておくことで、授業内での説明時間を短縮し、進度を大幅に上げることができます。また、史料の読み解きや考察により時間を割くことができますようになります。
- ・板書代わりに授業内での活用も可能です。

現代の歴史総合 みる・読みとく・考える 改訂版 ノート

B5判 192ページ+解答48ページ(予定) 2色刷 予価880円(税込) ISBN 978-634-05817-0

- 『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える 改訂版』に準拠したノートです。
教科書を活用しながら、歴史総合の学びをさらに深めることができるように作成しました。

- ノートをご採用いただきますと、特典として①紙面PDFデータ(解答あり/なし)
②本文テキストWordデータ③Googleフォーム版④「〇〇と私たち」「現代的な諸課題」でご使用いただけるワークシートデータ をご提供いたします。



改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

現代の 歴史総合 みる・読みとく・考える ノート 改訂版

現代の歴史総合ノート編集部 編

ポイント1 「テーマ全体の問い」を掲載

このテーマを通して考えたい、教科書の導入の問いをノートにも掲載し、関連付けて学習ができます。

小見出しは教科書と合わせています。

教科書本文の内容を簡潔に整理しています。重要用語は15個程度を穴埋めしています。

補足・ヒントや教科書の参照ページを示したガイドで学習をサポートします。

1

第1章 結びつく世界と日本の開国

18世紀の東アジアにおける社会と経済

p.20
~23

18世紀の中国と日本で、流通網が発達したのはなぜだろうか？

教科書p.6~7も参照。

- 明(1368~1644)後期から清(1644~1912)の経済は、連続したものとしてとらえよう。
- 遠隔地商業を担ったのは山西商人や徽州商人。
- 納税が銀でなされるようになり、民間の決済通貨も銀となった。

- 身分制社会であるため、社会秩序は一定程度安定していた。

18世紀の中国経済

- 長江下流域の江南…桑・綿花などの[1] 商品作物]栽培が進み、生糸・絹織物・綿織物などの[2] 手工業]が発達
大運河が整備され、蘇州や漢口が繁栄→[3] 遠隔地]商業で結ばれる
- トウモロコシ・サツマイモ導入による山地の開墾
日本やアメリカ大陸から[4] 銀]の流入
→貨幣経済の浸透、[5] 人口]増加
- 【特徴】(1)地域ごとの経済ネットワーク
…全国的な統一市場が形成された日本との違い
(2)[6] 耕地]面積拡大が人口増に追いつかず

18世紀の日本社会

- 江戸時代の日本
- [7] 天皇](朝廷)が祭祀
- [8] 徳川]将軍(幕府)が政治の実権を握る
- 幕府の直轄領と大名による[9] 藩]
→将軍は大名を臣従させる。天皇の権威がよりどころ
- 身分制社会…武士・百姓・町人・被差別民を含む身分集団
- 幕府と藩は検地帳に記された百姓の土地耕作権と所持権を保障して、村ごとに[10] 年貢]や諸役を課す

18世紀の日本経済とその変容

- 幕府の年貢収入…石高で約400万石
→18世紀に年貢収入停滞し、米価下落
- [11] 徳川吉宗]による享保の改革で年貢収納率上昇。18世紀半ばには頂点
- 商品生産活性化→西廻り海運の整備
→大坂・江戸・京都の[12] 三都]中心の全国市場
「[13] 天下の台所]」である大坂の蔵屋敷で年貢余剰米や専売品を管理
在郷商人から運ばれる納屋物も流通・集積
- [14] 遠隔地海運]…江戸-大坂間の菱垣廻船・樽廻船、
蝦夷地や東北地方-西日本を西廻りで結ぶ北前船などが発達
→蝦夷地の[15] 昆布]が西日本で流通、長崎で俵物輸出
- 【特徴】(1)貨幣経済浸透で有力百姓と小百姓に分化
(2)18世紀後半に凶作や飢饉、人口停滞
(3)19世紀に[16] 農村工業]の発達により経済成長

10 第1章 結びつく世界と日本の開国



教科書p.20-21 「姑苏繁華図」(部分、徐揚)



教科書p.21-23 遠隔地商人の交易ルート

金華は文教の盛んな町というが、浙東の端に位置し、土地はやせて人口は多く、遠隔地商業にたずさわる者は3分の1を占める。……蘇州にいる金華出身者は同郷人の来訪をよこび、金華から到来した者も同郷人を頼りに集まってくる。……乾隆9年(1744年)金華の同郷者たちは、(蘇州に)会館を建てようと合議し、資金を出し合い……建材をそろえ、職人を集め、壬申の年(1752年)に完成した。

教科書p.21-24 金華会館碑記(大意、1752年)

ポイント2 基本事項を確認する穴埋め問題

教科書の流れに沿って、基本事項を把握・確認できます。

ポイント3 教科書の資料と「問い」に取り組みやすい構成

教科書から資料と「問い」を厳選して掲載。さらに考える足がかりとなるヒントを追加していますので、生徒自身で「問い」に取り組みやすくなります。

- 蘇州では、どのような商品が取り引きされたのだろうか。大運河沿いに並ぶ商店の看板の文字を読んでみよう。

* 教科書p.20の拡大図から読み取ってみよう。

- A ① 綿花や布などの綿製品が取り引きされた。

- 看板にある「行」という文字は、現代の「銀行」などにも名残がある。これは何を意味するのだろうか。

* 「布行」「綿花行」「銀行」と並べて考えると、何がわかるだろうか。

- A ② 商品を扱う店。

- ③は遠隔地商人の交易ルートを示している。ルートが密になっているのは中国の東西南北のうち、どの地域だろうか。そして、その地域には何があるだろうか。

* 交易ルートが密になっていることは、流通網と経済が発展している様子を示している。また、地図の凡例にヒントがある。

- A ③ 交易ルートが密になっているのは中国の東部。そこには、蘇州などの位置する江南と呼ばれる長江下流域と、長江と北方の北京を結ぶ大運河沿いの地域が存在する。

- ④について、「金華の同郷者たち」が蘇州に会館を建てようとした理由は何だろうか。蘇州がどのような街であるかをふまえて、考えてみよう。

* 「金華」「蘇州」を③の地図から探し、④の絵もふまえて考えてみよう。

* 現代の日本にもたくさんある会館は、中国に由来している。

- A ④ 蘇州には大運河が通り、国内水上交通の要であった。「金華の同郷者たち」は、情報交換や相互扶助をおこなう、遠隔地商業を進める拠点として会館を建設した。

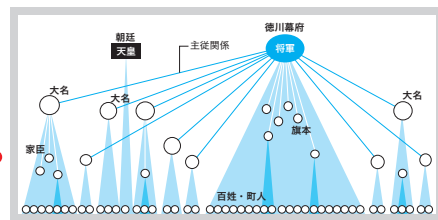
1 18世紀の東アジアにおける社会と経済 11

東シヤ
北シヤ

教科書と同様、テーマが取り扱う地域をインデックスで示しています。

※紙面は制作中のものです。一部変更の可能性がございます。

「空欄の穴埋め」「正しい文章の選択」「用語選択」など、様々なバリエーションで「問い」に取り組みやすくしています。



教p.22[8] 江戸時代の日本の国制

⑧の仕組みが大きく変化した転換点はいつだろうか。

＊教科書p.53～56を参照しよう。

A ⑧ 明治維新。これ以後、日本は中央集権的な国民国家建設を目指した。

④ 江戸時代の日本の国制と現在の日本の違いは、どのような点だろうか。

＊江戸時代の日本には2人の超越者がいるようだが、実際に民衆を統治しているのは誰かという点にも注意しよう。

A 江戸時代の日本は、天皇と⑤ 将軍 という2つの王権があり、さらに⑤ 将軍 を含む⑥ 大名 がそれぞれの領国を支配し、⑥ 大名 が⑤ 将軍 に従うことで1つの国家をなしている分権的な複合国家だった。これに対して、現在の日本は、1つの⑦ 中央 政府が全国を画一的に支配する⑦ 中央 集権国家である。



教p.23[10] 大阪の蔵屋敷（『摂津名所図会』部分/国立国会図書館蔵）

⑨ なぜ大坂が物資の集散地となったのだろうか。

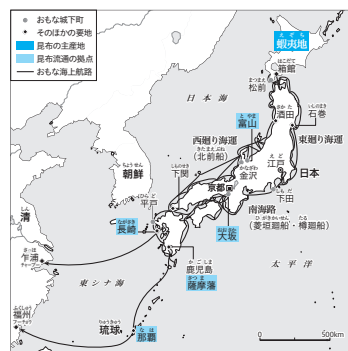
＊⑩の蔵屋敷が運河に面していることに注目しよう。また、「西廻り海運」「年貢」「納屋物」などの用語を使ってみよう。

A ⑨ 西廻り海運などが整備され、年貢余剰米や特産物、納屋物などが大坂に運ばれて売却されたため。

⑩ 昆布はどこで産出し、どのようなルートでどこまで流通したのだろうか。

＊凡例にみられる「昆布流通の拠点」となっている都市をたどってみよう。それはどこまで達しているだろうか。

A ⑩ 蝦夷地で産出された昆布は、西廻り海運の北前船などで日本海沿岸から大坂に流通し、長崎・薩摩藩・那覇などを経由して中国にまで輸出された。



教p.23[11] 海運の発達

余白には板書やメモなど自由に記入ができます。

ポイント4 「テーマへのアプローチ」で深める

学習内容を振り返りながら、「テーマへのアプローチ」に取り組むことで、教科書の内容への理解を深めます。

テーマへのアプローチ

① 18世紀の中国経済の発展に、どのような商品やモノが影響を与えたのだろうか。

桑や綿花などの商品作物栽培により[A 絹]織物・綿織物業が発展し、砂糖や陶磁器なども生産された。また、トウモロコシや[B サツマイモ]などの新作物が栽培され、日本やアメリカ大陸の[C 銀]が流通した。

② 繁栄する18世紀の東アジアのなかで、中国と日本の共通点と相違点はどこにあったのだろうか。

遠隔地商業が発展し、[D 貨幣]経済が農村にまで浸透したことは共通しているが、全国的な統一[E 市場]が形成された日本とは異なり、中国では地域ごとの[F 経済ネットワーク]が存在していた。

③ 徳川幕府の仕組みは、どのような形で経済の発展に影響を与えたのだろうか。

幕府と[G 藩]が全国を支配し、被支配身分である百姓に土地の耕作権と所持権を保障した。また百姓から徴収した[H 年貢]や特産物を、遠隔地海運などを通じて大坂の[I 蔵屋敷]に運び、納屋物とともに売却したことで、全国市場が確立した。

テーマ全体の問い

18世紀の中国と日本で、流通網が発達したのはなぜだろうか？

中国では江南を中心に、桑や綿花など[a 商品作物]栽培や、生糸・絹織物・綿織物など[b 手工業]の発展がみられた。また、福建省のサトウキビ栽培も発展し、景德镇では[c 陶磁器]生産がさかんになされた。トウモロコシやサツマイモなどアメリカ大陸原産の新作物栽培によって食糧の増産がなされ、日本やアメリカ大陸から[d 銀]が流入したことで、貨幣経済が農村にまで浸透した。さらに大運河の整備にとともに、[e 遠隔地]商業と金融のネットワークが形成されて、人口が急増した。一方日本では、幕府と[f 藩]が全国を統治する幕藩体制が安定し、人口は横ばいであったものの、全国各地で商品生産が活性化し、「[g 天下の台所]」と呼ばれた大坂に年貢余剰米や専売品とされた特産品などが運ばれた。江戸と大坂を結ぶ海運や、蝦夷地や東北地方と西日本を西廻りで結ぶ[h 北前船]のような遠隔地海運も発展して、全国的な市場が形成された。

ポイント5 「テーマ全体の問い」でまとめ

ここまでの学習を踏まえて、「テーマ全体の問い」に取り組むことができます。テーマを概念的に理解できるようなまとめとなります。



- 図版(写真) 299点
- 地図 88点
- グラフ・図表 100点
- 文字資料 55点
- 2次元コード 14点

わたしたちの歴史

日本から世界へ 改訂版

歴総081-903 AB判(257mm×210mm) 182ページ

【編者】

市川大祐 北海学園大学教授
長井伸仁 東京大学教授
吉澤誠一郎 東京大学教授

【著作者】

板垣 暁 北海学園大学教授
守川知子 東京大学准教授
渡邊宏明 海城中学高等学校教諭
澤野 理 神奈川県立横浜栄高等学校教諭
中山拓憲 神奈川県立湘南高等学校教諭
福本 淳 栄光学園中学高等学校教諭
丸山優介 東京都立武蔵高等学校・附属中学校教諭
安田智昭 三輪田学園中学校・高等学校教諭
株式会社 山川出版社

(2025年3月現在)

message



長井伸仁

(ながいのぶひと)

東京大学教授

かつて、「世界史は必ずしも幸福の地盤ではない。幸福な時期とは世界史における空白なページである」と述べた思想家がいました。たしかに、歴史の教科書には「空白なページ」などありませんし、書かれているできごとには戦争、経済危機、さらには疫病など、不幸というほかないことがめだちます。

とはいえ、そうした苦難を人類がなんとか乗り越えてきたのも事実であり、歴史の教科書はそのような視点からも読むことができます。危機のときに人々がどのように対応したのか、そこからどのような教訓を得たのか、そして、つぎに同じようなことが起こったときにその教訓を生かされたのかどうか、などが浮かび上がってくるはずです。現実には、解決されないまま課題として残っている問題は数多くあり、誰もが今後、そうした課題になんらかのかたちで向きあう必要があります。この教科書は、そのようなときに過去のできごとを思い出してもらえればと願いながら、執筆しました。事項はしぼりつつも重要なことは網羅し、また思い出しやすい記述になっているはずです。

教科書のどのページを開いても様々な人物が登場します。生没年や業績とともに詳しく説明される人から、写真の片隅に写る名もなき人まで、だれもが「歴史上の人物」です。不幸や苦難をもたらした人もいれば、そこに巻き込まれ流されつつも懸命に生きようとした人もいます。歴史の教科書は、そのような有名無名の人の記録でもあります。

今を生きる私たちも、もしかしたらはるか未来の教科書の片隅に写って、思いを馳せられているのかもしれない。そのときでも、教科書に「空白なページ」はないでしょうが、「幸福な時期」がこれから増えていくことを願っています。



澤野 理

(さわのおさむ)

神奈川県立横浜栄高等学校教諭

私たちの生きている現代の世界は、ある日突然にあらわれたものではありません。過去におきた様々なできごと—それは人によるできごとだけでなく自然の力によるできごともありま—のうえに現代の世界があるのです。歴史を学ぶということは、過去のできごとについて学ぶことを通じて、現代の世界の成り立ちや諸問題をみつめ、未来をよりよい世界とするための道筋を考えることといえるでしょう。

歴史総合は、現代の世界とのつながりや影響の強い近代・現代の歴史について、日本の歴史と世界の歴史を同じ科目で学びながら、それぞれのできごとを比べたり、おたがいのつながりや影響を考えたりすることをめざしています。そのためには、単純に歴史用語を暗記するだけではなく、それぞれのできごとについて、「いつ」「どこで」「どのようにして」、そして「なぜ」というような「問い」を自分から発する姿勢をもちながら学習することが重要となります。とはいえ、誰もがいきなり自分なりの「問い」を立てるということは難しいでしょう。この教科書では、高校生のみなさんが様々な「問い」をみずから立てられるようになることをめざしてつくられています。最初は、教科書の問いについて考えるだけで精一杯となるかもしれませんが、学習を進めていくにしたがい、自分なりの「問い」や答えを考えられるようになるでしょう。

この教科書での学習を通じて、現代の世界について主体的に考え、そして、よりよい未来のために行動できる人間となるための基礎力を高めてほしいと願っています。

見開き2ページで授業が完結！

48テーマに厳選した

幅広い層が学びやすい教科書

1

ビジュアル主体、平易な文章で楽しく学べる

- 図版・地図・表はできる限り大きくし、見やすくしました。
- 歴史の流れやできごとのつながりを重視し、**平易でわかりやすい記述**を心がけました。
- **文字資料は現代語訳にして**理解しやすくしています。
- 巻末の用語解説は、生徒にとってなじみの薄い概念用語を中心に取り上げて解説しています。
- 資料に対する「問い」も答えやすいように、穴埋めや選択肢を設けています。

2

シンプルな構成で授業計画の見通しが立てやすい

- テーマを通して本文の分量を統一し、図版などの資料や問いかけの点数を精選しています。**2単位で余裕を持った授業展開**ができます。
- 各テーマは高校現場で教える先生が執筆し、授業で活用しやすい要素を多く取り上げています。
- シンプルな構成と内容で、ご専門ではない先生にも扱いやすい教科書となっています。

3

動画や身近な話題で生徒の興味関心を引きつける

- 教師用指導書 デジタルコンテンツ集に収録された導入動画・まとめ動画で各テーマを視覚的にわかりやすく伝えます。
- 学校・給食・映画・野球・SDGsなど、生徒にとって身近に感じられるトピックを随所に盛り込んでいます。

関連教材

ICT教材

- 教師用指導書 デジタルコンテンツ集には、教科書の単元ごとの「授業用スライド」や、観点別評価を示した「知識確認問題」「定期テスト問題」などのデジタルコンテンツを収録し、授業をサポートいたします。(→p.8)
- 10,000点以上の地歴公民デジタルコンテンツを定額制でご利用できる**山川&二宮ICTライブラリ**をご用意しました。上記教師用指導書 デジタルコンテンツ集とあわせてご活用いただくことで、ICT活用がさらに充実します。

準拠教材

わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版 ノート B5判 予価770円(税込)(→p.80)

補助教材

山川 歴史総合 用語解説／同・アプリ付き版	四六判 定価990円(税込)／定価1,650円(税込)
歴史総合問題集	B5判 定価990円(税込)
歴史総合資料集	AB判 定価440円(税込)
歴史総合学習のための世界地理	AB判 定価440円(税込)
地図&年表で整理 歴史総合	AB判 定価440円(税込)
ムービー歴史総合	DVD 2枚組 定価22,000円(税込)

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

目次と配当時間例

全体を3部構成、48テーマに分け、1テーマを見開き2ページとし、標準単位数2単位で無理なく学習できる教科書となっています。

地理的な見方や考え方を養えるよう、巻頭資料として「歴史の舞台」を設けました。 目次 巻頭資料 歴史の舞台 東アジア — 4 南アジア・東南アジア — 6 西アジア — 8 ヨーロッパ — 10 アメリカ大陸 — 12 アフリカ大陸 — 13 歴史の扉 1 歴史と私たち 学校の歴史 — 14 2 歴史と資料 学校給食の歴史 — 16		第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち — 66 国際秩序の変化や大衆化への問い — 68 ①国際関係の緊密化／②アメリカ合衆国とソ連の台頭／③植民地の独立／④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化／⑤生活様式の変化 1 大衆運動の芽ばえ — 74 2 第一次世界大戦 — 76 3 第一次世界大戦と日本 — 78 4 ロシア革命とその影響 — 80 5 社会運動の広がり — 82 6 国際協調 — 84 7 アジアの民族運動 — 86 8 大衆社会の到来 — 88 考えてみよう！ 大衆文化としてのスポーツ、野球 — 90 考えてみよう！ 大衆文化としての映画 — 92 9 世界恐慌 — 94 10 独裁勢力の台頭 — 96 11 日本のアジア侵出 — 98 12 第二次世界大戦 — 100 13 第二次世界大戦と日本 — 102 14 第二次世界大戦の終結 — 104 15 戦後国際秩序 — 106 16 冷戦の始まり — 108 17 日本の戦後改革と日本国憲法 — 110 18 日本の独立 — 112 いまの私たちにつながる課題 — 114 【統合・分化】 1つの民族＝1つの国家？ 【平等・格差】 歴史のなかで女性とは？	
第1部 近代化と私たち — 18 近代化への問い — 20 ①交通と貿易／②産業と人口／③権利意識と政治参加や国民の義務／④学校教育／⑤労働と家族／⑥移民 1 結びつく世界 — 26 2 18世紀の世界とアジア — 28 3 産業革命 — 30 4 アヘン戦争と日本 — 32 5 日本の開国 — 34 考えてみよう！ 江戸時代 — 36 6 日本開国期の国際情勢 — 38 7 開国後の日本社会 — 40 8 市民革命と国民統合 — 42 考えてみよう！ 国民国家と多民族国家 — 44 9 明治維新 — 46 10 富国強兵と文明開化 — 48 11 日本の明治初期の外交 — 50 考えてみよう！ 琉球と蝦夷地 — 52 12 大日本帝国憲法の制定 — 54 13 日本の産業革命と日清戦争 — 56 14 帝国主義 — 58 15 日露戦争と韓国併合 — 60 いまの私たちにつながる課題 — 62 【自由・制限】 どちらがお得？ 自由貿易と保護貿易 【対立・協調】 意見がぶつかるのも前に進むため？		教科書ポータルサイトにアクセス！ 以下の2次元コードまたはURLから、学習に役立つコンテンツを収録した、教科書ポータルサイトにアクセスできます。 https://highschool-textportal.ywll.jp/rekisu3 コンテンツ一覧 用語解説 テーマごとに重要用語を解説しています。 スピードチェック 4択問題形式でテーマの内容を確認できます。 比較年表 様々な地域の年表を比較して参照することができます。	

本文内容をより深く考察できるよう、「考えてみよう！」と題した特集ページを設けました。→p.73

第3部 グローバル化と私たち — 118

グローバル化への問い — 120

①冷戦と国際関係／②人と資本の移動／③高度情報通信／④食料と人口／⑤資源・エネルギーと地球環境／⑥感染症／⑦多様な人々の共存

- 1 第三世界の登場 — 128
- 2 冷戦の固定化と「雪どけ」 — 130
- 3 冷戦の展開 — 132
- 4 55年体制と安保闘争 — 134
- 5 高度経済成長の光と影 — 136
- 6 ベトナム戦争とアメリカ — 138
- 7 経済構造の変化 — 140
- 8 日本の経済大国化 — 142

考えてみよう！ 日本の政府開発援助 — 144

- 9 アジアの経済成長 — 146
- 10 社会主義の停滞と新自由主義 — 148
- 11 冷戦の終結 — 150
- 12 冷戦後の地域紛争 — 152

考えてみよう！ 国連平和維持活動 — 154

- 13 地域統合 — 156
- 14 現代世界の諸課題 — 158
- 15 日本の諸課題 — 160

いまの私たちにつながる課題 — 162

【開発・保全】地球は、そして私たちは、どこへ向かうのだろうか？！

用語解説 — 164 現代の世界 — 表見返し
年表 — 168 現代の日本 — 裏見返し
索引 — 174

合計70時間

歴史資料

蒸気機関の仕組み 30 / 沖縄の文化 52 / アイヌの人々 53 / 関東大震災の様子 95 / 東京大空襲の様子 105 / 原子爆弾 105 / 新幹線 137 / 福岡県での公害 137 / 政府開発援助 145 / 国連平和維持活動 154

(すべてNHK for Schoolの動画コンテンツです)

※本サイト利用に際してコンテンツ使用料は発生しませんが、通信料がかかります。また、使用にあたっては個人情報の扱いに十分注意してください。

歴史資料

2次元コードを配置し、動画を参照することでより深い学びを促します。→p.71

用語解説

歴史用語に限らず解説が必要と思われる用語については、巻末に用語解説を設けて解説しています。→p.73

凡例

【テーマ全体の問い】

18世紀のアジアは、経済や文化が発達していた。こうした状況は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか？

このテーマを学習するなかで、考えたい事柄を示している。

【資料の問い】

このデモに参加しているのは、どのような人々だろうか？

写真やグラフ、文字資料などに関連して、考えたい事柄を示している。

【用語解説】

★ 本書を読む際に役立つように、本文中に印をつけた語句は、巻末に「用語解説」を設けて解説した。

【西暦と世紀】

西暦は、イエス＝キリストが生まれたとされる年を紀元元年として、年数を数えている。世紀は、西暦の100年をひとまとまりにして年代を区切るあらわし方で、たとえば、18世紀は1701年から1800年までを指す。

【年代の表記】

日本の歴史に関わる西暦年は、元号(年号)を併記した。明治5年までは日本暦と西暦とは1カ月前後の違いがあるが、日本に関する年月は日本暦をもとにし、西暦に換算しなかった。改元のあった年は、その年の初めから新しい年号とした。たとえば、慶応4年は9月8日に改元して明治元年となったが、この年のことはすべて1868(明治元)年とした。

【国名表記】

国名は、つぎのように表記する場合がある。
日本：日 中国：中 韓国：韓 アメリカ：米
ロシア：露 イギリス：英 フランス：仏
ドイツ：独 イタリア：伊 オランダ：蘭
ソヴィエト社会主義共和国連邦：ソ

【文字資料】

文字資料については、原則として現代語訳や日本語訳としたが、一部、原文をそのまま掲載したものもある。文字資料の引用はできるだけ必要な部分にとどめ、適宜、省略や表記の改変などをおこなった。

3

1. ビジュアル主体、平易な文章で楽しく学べる

テーマを通して本文の分量を統一し、図版などの資料や問いかけの点数も精選して、シンプルなレイアウトにしています。

2. シンプルな構成で授業計画の見通しが立てやすい

図版・地図・表はできる限り大きくし、見やすくしました。

2次元コード一覧

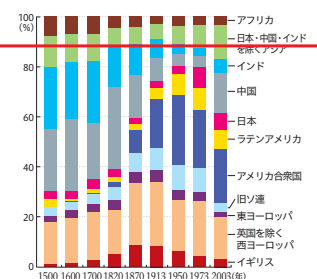
すべて動画コンテンツです

- p.30 蒸気機関の仕組み
- p.52 沖縄の文化
- p.53 アイスの人々
- p.95 関東大震災の様子
- p.105 東京大空襲の様子
- p.105 原子爆弾
- p.137 新幹線
- p.137 福岡県での公害
- p.145 政府開発援助
- p.154 国連平和維持活動

各テーマの冒頭にはテーマを理解するための発問を付し、本文を読むうえでの視点や考えたい事柄を示しました。

結びつく世界

解説が必要と思われる用語については、★マークをつけ巻末に用語解説を設けて解説しています。
→ p.73



マディソン『世界経済史概観』より作成
アジアの経済的立場について、このグラフから、どのようなことが読み取れるだろうか？

① 東南アジアやインドを原産地とする香辛料は、東地中海方面に勢力を拡大していたオスマン帝国を経由して運ばれたため、ヨーロッパでは高価であった。

スペインとポルトガルは、アジアへの航路を開いた。両国は、アジアでどのような活動をおこなったのだろうか？

ユーラシアの交易ネットワーク
13世紀に成立したモンゴル帝国(大モンゴル国)は、同世紀の半ばまでに、ユーラシアの東西にまたがる大帝國となった。広大な領土をもったこの帝国では、駅(驛)の整備など、交通路の安全を重視する政策が進められ、「ひと」や「もの」の往来が盛んになった。この時代にモンゴルを訪れたとされるイタリア商人マルコ・ポーロの見聞をまとめた『世界の記述』(『東方見聞録』)は、ヨーロッパの人々に大きな影響を与えた。

14世紀にモンゴルが衰えると、16世紀のアジアは、西から順にオスマン帝国・ムガル帝国・明(中国)などの帝国が並立する状況となった。その一方で、モンゴルの時代に形成された交易ネットワークは、その後も機能し、盛んな商業活動がおこなわれた。

ヨーロッパ諸国の新航路開拓
モンゴルの支配を直接受けなかったヨーロッパ西部では、14世紀頃からイギリス・フランスなどで、王権を強化して国家の統合を進める動きが始まった。イスラーム勢力が進出していたイベリア半島では、イスラーム勢力に対抗する運動の過程でポルトガルとスペインが成立し、15世紀末にイスラーム勢力を半島から追い出した。

ポルトガル・スペイン両国は、香辛料などの商品をアジアと直接取引するために、新航路開拓を進めた。その結果、ポルトガル人ヴァス

コ＝ダ＝ガマが、アフリカ大陸南端を経由して、1498年にインドに到達し、はじめてヨーロッパとインドを直結する航路がひらかれた。また、スペインに支援されたコロンブスが1492年にアメリカに到達し、さらに、スペイン人マゼランの艦隊が1522年に世界一周を達成したことで、大西洋と太平洋を横断してアジアにいたる航路が開拓された。

交易の活性化と日本
日本は、13世紀後半にモンゴル(元)の侵攻を2回受けたが、元とのあいだでは博多などを窓口とした民間の貿易もおこなわれていた。元にかわって中国を統治した明は、倭寇と呼ばれる武装した密貿易商人への対策を理由に民間人の海上交易を禁止した(海禁)。15世紀初めに室町幕府の足利義満が明に朝貢して勘合貿易(日明貿易)が始まると、日明両国に朝鮮を加えた東アジアの貿易は活性化し、博多や堺などの港町が栄えた。

16世紀半ばに勘合貿易が断絶すると、再び倭寇の活動が活性化した。交易の統制が難しく判断した明は民間人の交易を許したが、中国人商人が日本へ渡航することを認めなかったため、この頃に中国南部のマカオに進出していたポルトガル人が、中国・日本間の貿易に乗り出した(南蛮貿易)。

商業活動とあわせて、フランシスコ＝ザビエルらの宣教師も来航し、日本にキリスト教が伝えられた。南蛮貿易はキリスト教の布教とセットでおこなわれていたため、貿易の利益を求めてキリスト教徒になる者も多く、九州を中心にキリスト教が広まった。また、貿易をおこなう航路を利用して、海外に渡航する日本人も多かった。

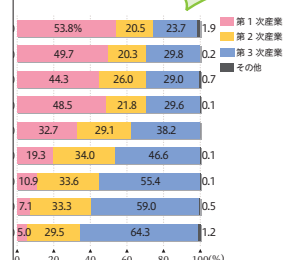
③『南蛮屏風』 南蛮人と交流を描く屏風は日本でも多く制作された。神戸市立博物館蔵



④天正通訳使節 1582(天正10)年、九州の戦国大名らによって、10代の少年4人がイエズス会の宣教師とともにローマ教皇への使節としてヨーロッパに派遣された。京都大学附属図書館蔵

⑤フィリピンのマニラを拠点としたスペインも日本に來航し、日本との貿易を開始した。当時、日本の人々はスペイン人やポルトガル人を南蛮と呼んだため、両国との貿易を南蛮貿易という。おもに日本の銀と中国の生糸が取引された。

どのような変化が読み取れるだろうか？



産業別15歳以上就業人数の割合
出典：原田『近現代日本経済史概観 補訂版』より作成

産業別15歳以上就業人数の割合	1950年	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2030年
第1次産業	53.8%	49.7%	44.3%	48.5%	32.7%	19.3%	10.9%	7.1%	5.0%
第2次産業	20.5%	20.3%	26.0%	21.8%	29.1%	34.0%	33.6%	33.3%	29.5%
第3次産業	23.7%	29.8%	29.0%	29.6%	38.2%	46.6%	55.4%	59.0%	64.3%
その他	1.9%	0.2%	0.7%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.5%	1.2%

福岡県での公害
NHK for School
「工業がもたらした環境問題」

5 高度経済成長の光と影

〇〇への問い

資料を読みとく技術を培いながら、これから学ぶ時代について、疑問や課題意識を持つようにします。

近代化への問い① ①～④のテーマのなかから選んで、取り組んでみよう。

交通と貿易

18世紀のイギリスで始まった産業革命は、交通機関の発達もうながした。交通機関が発達していった理由や、その影響について、みていこう。

新しい交通機関の発明

運河開通以前には陸上交通は、……100ポンド^①の重さのものを1マイル^②運ぶのに1セント^③しかかった。そこでコムギ^④1バレル^⑤が市場に出ているとすれば、そのコムギを300マイル運ぶ運賃は5ドル以上になったであろう。しかし鉄道によるシンシナティからニューヨークまで1ドルで運ぶことができる。

※1バレル＝453.6グラム、※2マイル＝約1.6キロメートル、※3セント＝100分の1の通貨単位、※4バレル＝約170リットル、※5ドル＝約100円（平成16年現在）

①南米開拓 ②世界交通網発展の資料 ③アメリカ合衆国北東部の鉄道網（1860年）

④の絵は、蒸気機関を利用した新しい交通機関ですね。

⑤によると、鉄道によってコムギの輸送費が（A：高くなった、B：安くなった）ことがわかります。

⑥ということでは、鉄道は（A：A）（B：B）にも活用されたと考えられますね。

（A）や（B）に当てはまる語句や言葉は何だろうか？

日本における新しい交通機関の発達

1872 神奈川と横浜のあいだに最初の鉄道が開通する
1881 日本郵船会社設立される
1885 日本郵船会社が設立される
1889 東洋通運（東京・神戸）が設立される
1891 日本郵船会社が上野・横浜間に鉄道を開通させる
1893 日本郵船会社が神戸・横浜間の鉄道を開通させる
1896 日本郵船会社が神戸・横浜間の鉄道を開通させる
1896 日本郵船会社が神戸・横浜間の鉄道を開通させる

⑦をみると、日本でも（C：明治維新・第一次世界大戦・第二次世界大戦）以降、新しい交通機関が発達していきますね。

最初の国際航路がインドへの航路となったのは、なぜでしょう？

この頃のインドは、（D：綿花・生糸・アヘン・茶）の生産地として知られていました。

欧米への航路は、日本で生産された（E：綿花・生糸・アヘン・茶）の輸出のために開かれたのでしょうか？

（C）から（E）に当てはまる語句や言葉は何だろうか？

このページで気づいたこと、もっと知りたいと思ったことを疑問のかたちでまとめてみよう。

「近代化への問い」では学習指導要領で取り上げられている「交通と貿易」「産業と人口」「権利意識と政治参加や国民の義務」「学校教育」「労働と家族」「移民」の6項目を掲載しています。

資料を読み解いたり、疑問を設定したりするヒントとなるよう、それぞれの項目にキャラクターによる会話文等を設けました。

「いまの私たちににつながる課題」一覧

【自由・制限】
どっちがお得？ 自由貿易と保護貿易

【対立・協調】
意見がぶつかるのも前に進むため？

【統合・分化】
1つの民族＝1つの国家？

【平等・格差】
歴史のなかで女性とは？

【開発・保全】
地球は、そして私たちは、どこへ向かうのだろうか？

いまの私たちににつながる課題

過去の人々が課題に対してどのような取り組みを行ったかを資料を読み解きながら振り返り、現代の諸課題について自ら課題を設定して考えます。

いまの私たちににつながる課題 開発・保全

地球は、そして私たちは、どこへ向かうのだろうか？

●地球サミットと京都議定書

地球温暖化やオゾン層の破壊など気候変動に関する国際環境問題について、国際社会が本格的に動きはじめた最初の事例は、1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された地球サミット（環境と開発に関する国際会議）であった。全世界から182カ国、6地域・機関などが参加した。しかし議論が進まず、すぐに意気になって、環境破壊を心配して今後開発を待たせようとする先進国と、これら工業化を進めて豊かになろうとしている開発途上国との意見の隔たりは大きかった。当初予定されていた森林保全条約の開発途上国の反対で結ばれず、法的拘束力のない声明の発表にとどまった。それでも気候変動枠組条約、生物多様性条約が結ばれたのは大きな成果であった。

地球温暖化をくいとめるために結ばれた気候変動枠組条約は、1度結んで終わりという条約ではなく、その後、その精神が守られるために、たびたび話し合いがおこなわれた。1997年におこなわれた京都議定書は、温室効果ガスの削減を義務づける京都議定書が結ばれたが、国別の数値目標を定めたのは先進国のみで、のちに課題を残した。

Q1 国際的な環境問題への対応を考えると、温室効果ガス削減への取組の意思は様々なことを考えさせる。この取組は、安定的にどちらが正しいかは決まれない2つの有力な意見があり、一歩前進した取組をきたしてきた。2つの意見とは何だろうか？ ①、②を参考にしながら説明してみよう。

●京都議定書のその後とパリ協定

アメリカは先進国のみが負担を負う京都議定書に反対し、2001年に京都議定書から離脱した。また、11年には、今後の京都議定書に関する話し合いがおこなわれ、2013年から2020年まで京都議定書を延長することを決めた。しかし、再び開発途上国の削減義務は具体化されず、アメリカも離脱した状態での延長は無意味としてカナダ、ロシア、そして日本が京都議定書から離脱した。

2015年、パリでおこなわれた話し合いでは、開発途上国を含むすべての国が温室効果ガス削減に協力して取り組むことが決定した（パリ協定）。しかし、多くの国の参加が優先されたため、目標達成義務は決められなかった。

Q2 パリ協定は、それまでの取組とどのような点が異なるのだろうか？

Q3 パリ協定と同じ年に国際連合が中心となってまとめた行動計画「持続可能な開発目標（SDGs）」がある。これは環境だけでなく、開発や貧困の問題をあわせて取り上げ、国家だけでなく企業や大学などにも行動目標としての参加を求めていることに特徴がある。③を見て、①環境問題に深く関わっているもの、②貧困の問題に深く関わっているもの、そして③環境・開発の両方の問題に深く関わっているものを抜き出してみよう！ そのうえで、あるべき社会の姿や自分たちに何ができるのかについて、考えてみよう！

Q4 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q5 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q6 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q7 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q8 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q9 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q10 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q11 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q12 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q13 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q14 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q15 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q16 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q17 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q18 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q19 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q20 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q21 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q22 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q23 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q24 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q25 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q26 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q27 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q28 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q29 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q30 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q31 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q32 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q33 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q34 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q35 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q36 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q37 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q38 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q39 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q40 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q41 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q42 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q43 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q44 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q45 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q46 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q47 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q48 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q49 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q50 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q51 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q52 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q53 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q54 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q55 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q56 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q57 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q58 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q59 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q60 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q61 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q62 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q63 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q64 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q65 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q66 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q67 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q68 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q69 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q70 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q71 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q72 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q73 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q74 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q75 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q76 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q77 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q78 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q79 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q80 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q81 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q82 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q83 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q84 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q85 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q86 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q87 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q88 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q89 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q90 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q91 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q92 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q93 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q94 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q95 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q96 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q97 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q98 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q99 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q100 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q101 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q102 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q103 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q104 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q105 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q106 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q107 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q108 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q109 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q110 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q111 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q112 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q113 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q114 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q115 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q116 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q117 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q118 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q119 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q120 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q121 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q122 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q123 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q124 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q125 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q126 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q127 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q128 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q129 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q130 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q131 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q132 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q133 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q134 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q135 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q136 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q137 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q138 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q139 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q140 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q141 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q142 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q143 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q144 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q145 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q146 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q147 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q148 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q149 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q150 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q151 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q152 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q153 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q154 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q155 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q156 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q157 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q158 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q159 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q160 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q161 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q162 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q163 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q164 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q165 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q166 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q167 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q168 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q169 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q170 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q171 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q172 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q173 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q174 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q175 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q176 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q177 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q178 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q179 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q180 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q181 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q182 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q183 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q184 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q185 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q186 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q187 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q188 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q189 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q190 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q191 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q192 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q193 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q194 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q195 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q196 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q197 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q198 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q199 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q200 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q201 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q202 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q203 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q204 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q205 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q206 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q207 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q208 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q209 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q210 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q211 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q212 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q213 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q214 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q215 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q216 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q217 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q218 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q219 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q220 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q221 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q222 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q223 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q224 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q225 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q226 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q227 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q228 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q229 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q230 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q231 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q232 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q233 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q234 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q235 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q236 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q237 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q238 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q239 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q240 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q241 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q242 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q243 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q244 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q245 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q246 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q247 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q248 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q249 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q250 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q251 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q252 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q253 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q254 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q255 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q256 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q257 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q258 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q259 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q260 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q261 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q262 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q263 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q264 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q265 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q266 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q267 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q268 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q269 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q270 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q271 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q272 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q273 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q274 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q275 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q276 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q277 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q278 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q279 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q280 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q281 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q282 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q283 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q284 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q285 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q286 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q287 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q288 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q289 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q290 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q291 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q292 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q293 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q294 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q295 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q296 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q297 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q298 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q299 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q300 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q301 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q302 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q303 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q304 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q305 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q306 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q307 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q308 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q309 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q310 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q311 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q312 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q313 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q314 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q315 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q316 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q317 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q318 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q319 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q320 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q321 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q322 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q323 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q324 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q325 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q326 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q327 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q328 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q329 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q330 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q331 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q332 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q333 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q334 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q335 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q336 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q337 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q338 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q339 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q340 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q341 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q342 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q343 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q344 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q345 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q346 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q347 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q348 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q349 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q350 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q351 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q352 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q353 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q354 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q355 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q356 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q357 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q358 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q359 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q360 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q361 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q362 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q363 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q364 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q365 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q366 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q367 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q368 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q369 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q370 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q371 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q372 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q373 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q374 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q375 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q376 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q377 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q378 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q379 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q380 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q381 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q382 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q383 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q384 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q385 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q386 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q387 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q388 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q389 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q390 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q391 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q392 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q393 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q394 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q395 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q396 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q397 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q398 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q399 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q400 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q401 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q402 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q403 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q404 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q405 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q406 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q407 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q408 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q409 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q410 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q411 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q412 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q413 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q414 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q415 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q416 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q417 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q418 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q419 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q420 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q421 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q422 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q423 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q424 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q425 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q426 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q427 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q428 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q429 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q430 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q431 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q432 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q433 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q434 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q435 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q436 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q437 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q438 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q439 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q440 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q441 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q442 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q443 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q444 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q445 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q446 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q447 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q448 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q449 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q450 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q451 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q452 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q453 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q454 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q455 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q456 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q457 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q458 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q459 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q460 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q461 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q462 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q463 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q464 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q465 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q466 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q467 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q468 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q469 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q470 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q471 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q472 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q473 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q474 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q475 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q476 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q477 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q478 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q479 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q480 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q481 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q482 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q483 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q484 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q485 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q486 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q487 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q488 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q489 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q490 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q491 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q492 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q493 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q494 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q495 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

Q496 持続可能な開発目標（SDGs）17ゴール

3. 動画や身近な話題で生徒の興味関心を引きつける

教師用指導書 デジタルコンテンツ集を活用した授業展開例

1 導入 導入動画で学習のポイントを提示



2～3分のアニメーション
授業冒頭の導入に最適

2 展開1 教科書紙面PDFや授業用スライド・準拠ノート対応スライドを活用して板書を省き、スムーズに進行



拡大表示にも
対応した
解像度

3 展開2 準拠ノート紙面PDFやワークシートでプリント教材の準備を削減



テーマの問いにも
スムーズに取り組める
わかりやすい構成

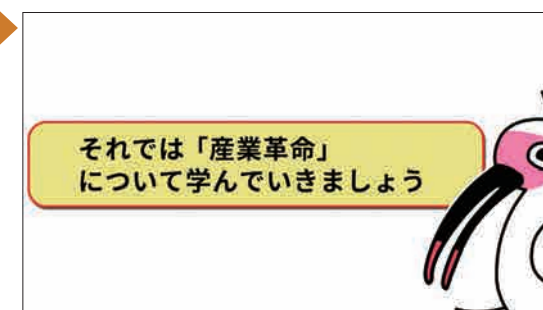
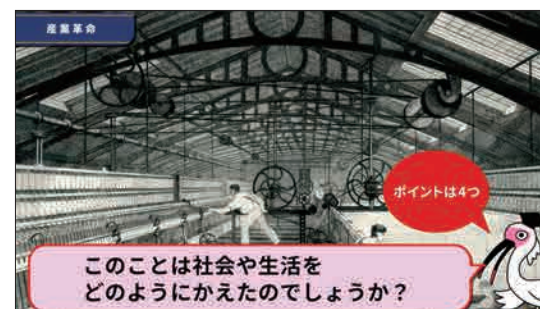
4 まとめ まとめ動画でその日の授業をふりかえり



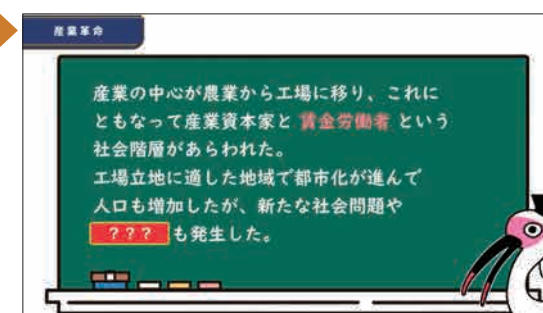
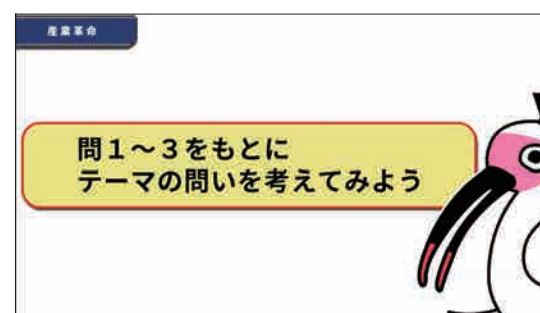
穴埋め形式などで
重要なポイントを
整理しながら、
テーマの問いに
取り組みます。

※紙面は改訂前のものです。一部変更の可能性がございます。

導入動画



まとめ動画



改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材

教師用指導書 授業実践編

「教科書本文」の指導解説ページ例

要点整理(板書例、スライド例、プリント例)

豊かなアジアへのごかれ

①18世紀のアジア

オスマン帝国・清などの帝国が栄える

インドから中国にかけての地域で世界商品を生産

→ヨーロッパへ輸出

②ヨーロッパの進出

東インド会社など特許会社の設立→アジア進出

一部を除き植民地化は困難

③清の繁栄

康熙帝の時代に始まる繁栄期

キリスト教布教の禁止や貿易の制限

宣教師 ヨーロッパの科学技術を中国に伝える

中国の政治体制や文化をヨーロッパに伝える

→たがいに大きな影響

ヨーロッパ諸国の海外進出

①商品取引から植民地獲得へ

南北アメリカ大陸の植民地化

+アフリカ西海岸の奴隷貿易→大西洋三角貿易の成立

アメリカ合衆国の独立→新たな植民地の必要性

日本・琉球・蝦夷地

①鎖国

貿易と対外関係の制限

「四つの窓口」を通じた海外との交流

②国内経済の発達

世界商品(綿織物・茶・陶磁器・砂糖)の国産化

+新田開発による農業生産増→全国市場の形成

③琉球・蝦夷地

琉球…中国に形式的に服属・日本が実質的に支配

蝦夷地…先住民であるアイヌとの交易

要点整理は矢印や記号で相互関連性を示しており、板書やプリントの作成などにご活用いただけます。

本文で扱う事象や歴史用語について詳細な解説を付しました。

より深い授業が展開できるよう、教科書の内容+αの資料や発問例を紹介しています。

歴史事象・歴史用語解説

インドの綿織物 綿(本来の用字は棉)は、アオイ科ワタ属の多年草からとれる繊維で、のびにく丈夫であり、吸湿性にすぐれるという性質をもつ。原産地はインドとアフリカといわれ、このうちインドでは、前2000年には栽培と繊維としての利用が始まっていた。古代より、インドの重要な産物として知られ、西アジア・ヨーロッパへは紀元前には伝わっていた。また、東南アジアで産出されるスパイスの対価として用いられていたともいわれている。17世紀末に東インド会社がインド産の綿布(更紗、キャラコ)を輸入すると、軽くて美しいインド綿布は熱帯に迎え入れられた(いわゆる「キャラコ熱」)。またイギリス以外のヨーロッパ諸国でもインド綿布への需要が大きかった。しかし、イギリスで試作された綿布は厚手で、弱く、また染色も未熟であったため、インドの綿織物に太刀打ちできなかった。18世紀の初めから一連の技術革新が繰り返され、18世紀の終わりからようやく実用的な綿布(模倣キャラコ)ができるようになった。

東インド会社 17世紀より19世紀にかけて、東インド・ヨーロッパ間の交易や、南アジア・東南アジアにおける植民地の経営をおこなった特許会社。ここでいう「東インド」とは、喜望峯以南、マゼラン海峡に至る全海域を指す。本来の目的は、「東インド」物産のヨーロッパへの輸入を独占し、高い利潤をあげることであったが、各国間の競争を勝ち抜くため、現地の伝統的政治権力と結び、政治的・軍事的支配権をも把握するようになった。そのため、東インド会社間の争いが植民地戦争に発展し、本国の出先官庁のような性格をおびるに至った。

イエズス会の中国布教 イエズス会は、1534年にイグナチウス・ロヨラがパリで創立した。40年に教皇パウルス3世の認許によって正式に発足した。会員は軍隊の訓練を受け、厳格な規律を守り、教皇を首長と仰いで布教活動の拡大、新教徒の改宗をもつて使命を遂げて布教に従事した。その熱心な布教は、ポルトガル・スペインの植民事業と並行し、アメリカやアジアにもカトリックが伝播された。アジアへの布教では、40年日本に定着し九州・関西に布教した平賀玄。中国に自然科学を伝えたマテオ Ricci などが有名である。中国では、ヨーロッパの科学や学問の紹介をおこなうながら中国の士大夫層の関心をひき、高官や宮廷に接近することにつとめ、布教の許可を得ることに成功した。また布教にあたっては、中国社会の風習を取り入れ、中国人信者の祖先崇拝や孔子をまつことなどの伝統的儀礼を認めて布教の成果をあげた。しかし、その布教法は他派宣教師の敵視するところとなり、ローマ教皇への提訴となっていわゆる典礼問題を引き起こすことになった。したがって、中国におけるキリスト教布教は、イエズス会士と他派宣教師との教法をめぐる争いによって失敗をもたしているのであり、かつその争いは中国皇帝とローマ教皇との対立へと発展したのである。

北アメリカ植民地と奴隷貿易 奴隷貿易は、16世紀末まではポルトガルが独占し、以後スペイン・オランダ・フランス・イギリスが割り込んだ。イギリスでは1672年王立アフリカ会社が設立され、奴隷貿易を独占したが、1698年この独占を廃止し、10%の課税と引き換えにイギリス国旗を立てたすべての船舶に貿易の権利を開放した。黒人奴隷貿易の基地はイギリスではリヴァプール、ニューイングランドではロードアイランド州であった。植民地でタバコやコメ・藍の栽培が盛んになると、安い労働力として黒人奴隷の需要が増大した。植民地の労働力は、はじめは本国やアイルランドで土地を奪われた農民や都市の貧民らの年季奉公人であったが、年季がくれば独立の生産者にもなり、労働力の固定化には不都合であった。そのため、プランターは、白人年季奉公人にかけて黒人奴隷を利用した。奴隷の数は年々増加し、白人年季奉公人の数は減少した。奴隷の数は年々増加し、白人年季奉公人の数は減少した。

+α 図版・資料

●コンプラ瓶

解説 「コンプラ瓶(蘭瓶)」と呼ばれる渡佐見焼の染付白磁。醤油の輸出は17世紀前半から始まるが、19世紀に入ると輸出向けの瓶もつくられるようになった。瓶に「JAPANSCHIZOYA(日本の醤油)」とあるように、蓋そのものではなく中身の醤油が輸出品であった。

発問例 瓶の中身は何だろう？

解説 日本で醸造した醤油。醤油は、日本の食文化に欠かせない調味料の一つであるが、一般に普及するのは江戸時代中期以降とされている。商品からの最初の輸出が1647年、オランダ東インド会社が本国へ最初の持ちこんだのが1737年とされているので、国内への普及と並行して輸出されていたと考えられる。18世紀のフランスで編纂された『百科全書』にも醤油について「…フランスには、オランダ人によってもたらされた。このソースは、すべての肉料理の風味を引き立たせ、…素晴らしい味をもたらす」との記述がある。ルイ14世の宮廷料理の隠し味として使われたというエピソードも残っている。なお、醤油を使い切ったあとの空き瓶は、一輪挿しなどに利用されることもあったとされている。

参考文献等(図は教師向け、図は生徒向け)

【一般書・専門書】

①上田信『海と帝国——明治時代』(中国の歴史9)講談社 2005年

②岸本美緒『東アジアの「近世」』(世界史リブレ13)山川出版社 1998年

③岸本美緒『奴隷船の世界史』岩波書店 2019年

④山田尚徳『開国前後の東洋』(日本近世の歴史5)吉川弘文館 2013年

⑤川北聡『移住の世界史』岩波書店 1996年

【漫画】

⑥みなもと太郎『風雲児たち』リイド社など

先生・生徒の視点から導入や本文理解に活用できる参考文献を挙げました。

54 第1部 近代化と私たち

56 第1部 近代化と私たち

教師用指導書 デジタルコンテンツ集

収録予定コンテンツ一覧

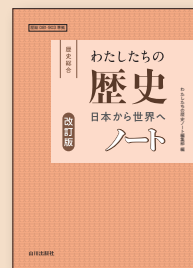
コンテンツ名		ファイル	内 容
授業準備・授業	教科書紙面	PDF	教科書全ページの紙面データ
	指導書紙面	PDF	指導書全ページの紙面データ
	教科書本文テキスト	txt	本文・注・史料のテキストデータ
	教科書掲載地図・図表データ (カラー)	PNG	地図・図表のカラー画像データ
	教科書掲載地図・図表データ (モノクロ)	PNG	地図・図表のモノクロ画像データ
	教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	問いと解答例の一覧
	レイヤー分け地図データ	PDF	レイヤーで表示内容が選択できる地図データ
	白地図	PNG	プリント用・黒板用の画像データ
	授業用スライド	PowerPoint Googleスライド	各テーマごと、教科書に準拠したスライド
	準拠ノート対応スライド	PowerPoint Googleスライド	各テーマごと、準拠ノートの内容にあわせたスライド
授業・評価	準拠ノート紙面 (解答あり／なし)	PDF	準拠ノートの紙面データ
	準拠ノートテキスト	Word	準拠ノートのテキストデータ
	「〇〇化への問い」「〇〇な諸課題」へ取り組むためのワークシート	Word	特集ページへ取り組むためのワークシート
	巻頭資料・歴史の舞台へ取り組むためのワークシート	Word	特集ページへ取り組むためのワークシート
	知識確認問題 ※〈知識・技能〉対応	Word Googleフォーム Microsoft Forms	各テーマごと、一問一答／選択式の問題
	定期テスト問題 ※〈知識・技能〉〈思考・判断・表現〉対応	Word	各テーマごと、穴埋め／会話文形式の問題
	自己評価・振り返りシート ※〈主体的に学びに向かう態度〉対応	Word	自己評価や授業の振り返りが行えるプリント
	大学入学共通テスト過去問題	PDF	試行問題～2026年度の問題を収録
	歴史総合学習のための世界地理	PDF	同名教材の紙面データ
	授業用動画	MP4	各テーマごと、2～3分の導入動画・まとめ動画
	年間指導計画表・評価規準例	Excel	カリキュラムに合わせて編集・加工が可能

※これらのコンテンツは制作中のため内容・仕様は一部変更の可能性がございます。

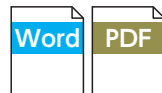
わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版 ノート

B5判 144ページ+解答16ページ 4色刷 予価770円(税込) ISBN 978-4-634-05818-7

●授業でも自学自習でも使用可能なノートです。教科書の内容を穴埋め形式で整理しています。



ノートをご採用いただきますと、特典として①紙面PDFデータ(解答あり/なし)②本文テキストWordデータ③Googleフォーム版 をご提供いたします。



本文

テーマの問いを考えよう

テーマの問いについて、順を追って考えていきます。

テーマの問いを考えよう

テーマの問い 帝国主義の時代、列強は様々な地域を植民地とした。この過程で欧米諸国の関係は、どのように変化したのだろうか？

問1 第2次産業革命によって、列強が非ヨーロッパ世界への進出を強化したのはなぜだろうか。

① _____ 部門を発展させるための② _____ や商品の市場を確保することに加え、欧米諸国が1870年代に深刻な不況となったことで、植民地を重要な③ _____ とみなすようになったため。

問2 世界分割の過程で、列強諸国の関係はどのように再編されていったのだろうか。

世界分割が進む過程で、20世紀初頭には、イギリス・フランス・ロシアによる① _____ とドイツ・オーストリア・イタリアによる② _____ という2つの同盟関係が形成された。

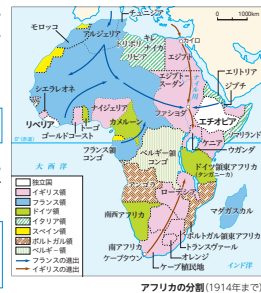
問1～2をもとにテーマの問いを考えてみよう。

地図を確認しよう

問1 アフリカの分割が急速に進む結果をもたらした国際会議で、問題とされた地域はどこだろうか。つぎから1つ選ぼう。

ア 南アフリカ イ マダガスカル
ウ エチオピア エ コンゴ

問2 アフリカ諸地域に現在の地図でもみられるような不自然に直線的な境界線が引かれているのはなぜだろうか。



13 帝国主義 39

地図(資料・図・表・グラフ)で確認しよう

教科書に載っている地図などを読み取り、基本的な事項をおさえます。テーマの問いに関連して配置されている場合もあります。

()に当てはまる選択肢や語句、文章を考えます。

教科書の図版番号に対応しています。

近代化への問い①

交通と貿易

▶教科書 p.20

(A)～(E) に当てはまる選択肢や言葉は何だろうか？

新しい交通機関の発明

1 (蒸気機関車) の絵は、蒸気機関を利用した新しい交通機関ですね。

2 (蒸気機関車関係の資料) によると、鉄道によってコムギの輸送費が(A: 高くなった / 安くなった) ことがわかります。

ということは、鉄道は(B: _____) にも活用されたと考えられますね。

日本における新しい交通機関の発達

1 (日本における交通機関の発達) をみると、日本でも(C: 明治維新 / 第一次世界大戦 / 第二次世界大戦) 以降、新しい交通機関が普及していきますね。

最初の国際航路がインドへの航路となったのは、なぜでしょう？

この頃のインドは、(D: 綿花 / 生糸 / アヘン / 茶) の生産地として知られていました。

欧米への航路は、日本で生産された(E: 綿花 / 生糸) の輸出のために開かれたのでしょうか？

このページで気づいたこと、もっと知りたいと思ったことを疑問

8 第1部 近代化と私たち

教科書のQに対応しています。

いまの私たちにつながる課題

- 近代化への問い
- 国際秩序の変化や大衆化への問い
- グローバル化への問い

教科書の図版番号に対応しています。

いまの私たちにつながる課題

自由・制限

どちらがお得？ 自由貿易と保護貿易

▶教科書 p.60～61

Q1 ①(自由貿易と保護貿易の違い) から、自由貿易を選ぶ国と保護貿易を選ぶ国には、どのような違いがあるといえるだろうか？

Q2 ①1円でも安い商品を買いたい人にとって、自由貿易はどのような意味をもつだろうか？
②他国より優れた製品の開発を進めている人や国にとって、保護貿易はどのような意味をもつだろうか？

Q3 ①イギリスは、清からおもに何を輸入していたのだろうか？
②イギリスは、清へ何を輸出したかったのだろうか？
③イギリスは、清に対してどのようなことを求めたのだろうか？
④清は、なぜイギリスの要求を受け入れなかったのだろうか？
⑤交渉に失敗したあと、イギリスはどのような手段で貿易の損失をおぎなおうとしたのだろうか？

42 第1部 近代化と私たち

指導者用デジタル教科書(教材)

学習者用デジタル教科書

- ・指導者用デジタル教科書は教師用指導書とのセット販売のみとなります。(指導者用デジタル教科書単体での販売はいたしません)。
- ・日本史探究／世界史探究は【クラウド版】と【インストール版】、歴史総合は「クラウド版」のみの販売となります。

指導者用デジタル教科書 独自機能

●地図・グラフアプリ

アプリアイコンがついている地図・グラフは、凡例やデータ系列ごとに表示／非表示の切り替えができます。

●Q&Aアプリ

発問部分をクリック／タッチすることで問いに対する解答例のスライドが表示できます。

地図・グラフアプリ



指導者用／学習者用 共通機能

	検索	用語を入力して掲載ページを検索・移動します。		道具	タイマー、ふせん、ポインター、リンク貼り付けなどが使用できます。
	ペンマーカー	色、透明度、太さの設定が変更できます。		記録	書き込みをした内容の保存、読み込みができます。
	図形スタンプ	図形は色、透明度、太さが選べます。スタンプは初期登録の素材の他、画像データを読み込んで貼ることができます。		表示設定	全画面表示への切替や、紙面上のクリックポイントの表示などの設定ができます。
	消す	消しゴムでの部分消去や全消去、「元に戻す／やり直す」操作ができます。		ズーム	紙面の拡大表示ができます。
	リンク	教科書紙面の二次元コードは動画や文書のアイコンとなっており、動画視聴Webサイトや関連コンテンツへとリンクします。※オンライン環境が必要です。			

デジタル教科書 商品概要

	指導者用デジタル教科書(教材)	学習者用デジタル教科書
提供方法	〈歴史総合〉クラウド版 〈日本史探究〉クラウド版／インストール版 〈世界史探究〉クラウド版／インストール版	
使用期間	教科書ご利用期間内	教科書ご利用期間内
クラウド版ライセンス形式	学校内フリーライセンス	1ユーザー1ライセンス
利用者端末動作保証環境	●iPad OS ブラウザ：Safari ●Chrome OS ブラウザ：Google Chrome ●Windows 11 ブラウザ：Microsoft Edge・Google Chrome ※iPad OS・Google Chrome OSはクラウド版、または学校内Webサーバー環境のみご利用可能。	
基盤システム	みらいスクールプラットフォーム	

歴史総合テスト問題データベース

※2026年春発売予定

New!

Word

Googleフォーム

Microsoft Forms

指導書扱いにつき、教科書取扱い書店様にご注文ください。

GoogleフォームとMicrosoft Forms にも対応！

テスト問題は、単元ごと大問単位にWordファイルで収録されています。Wordファイルの最終ページに表示されたリンク先からワンクリックでGoogleフォームとMicrosoft Formsにアクセス可能です。

2024年春に刊行した『日本史テスト問題データベース』『世界史テスト問題データベース』に含まれる歴史総合のテスト問題を分離して再編集したものです。その他、あらたに総合問題を追加しました。なかでも、会話文形式によるリード文と諸資料の読み解きからなるB問題は、共通テスト対策としても役立ちます。

WordファイルのみならずGoogleフォームとMicrosoft Formsも、内容の改編が任意におこなえます。ふだんお使いの教科書や授業進度、学習内容にあわせてお使いいただける便利な教材です。

定期テストや演習プリントの作成などには是非ご活用ください。

- GoogleフォームとMicrosoft Formsに対応
(リンク先からコピーして使用)
- テスト問題は、大問単位にWordファイルで作成
- 単元ごと「基礎」「標準」「発展」にレベル分けして収録

商品概要

問題数 : A問題(リード文の空欄補充) = 138問
B問題(諸資料を活用した問題) = 231問
総合問題 = 約100問

提供方法 : 小社Webサイトよりダウンロード(ライセンス証を発行)

動作環境 : Windows11

ブラウザ : Microsoft Edge, Google Chrome, Firefox

地歴公民共通

山川&二宮ICTライブラリ

授業準備に必要な図版や資料が簡単検索！フリーワード検索はもちろん、科目・時代・分野・地域やコンテンツの種類にチェックをいれるだけで簡単に検索・絞り込みができます。

法人向け定額制コース **77,000円／年**

- ・地歴公民科にご在籍の先生でしたら何名様でもご利用いただけます。
- ・同一敷地内の中高一貫校は、中学校・高等学校ともご利用いただけます。

個人向け定額制コース **1,320円／月**

- ・クレジットカード決済のみのお取り扱いとなります。
- ・領収書の発行も可能です。

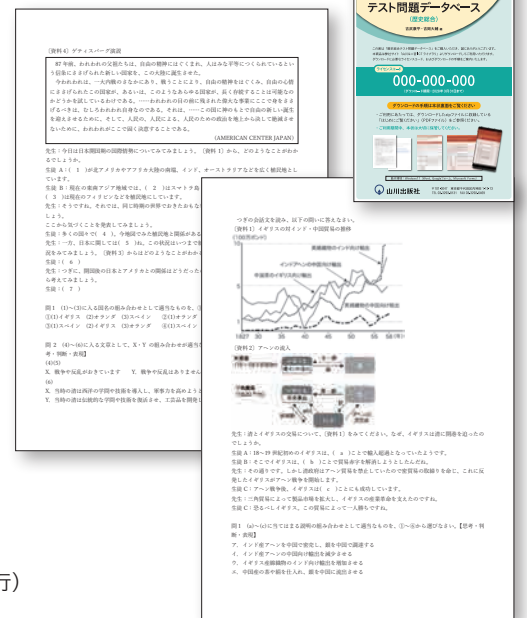


サービスのお申し込み／
詳しいご説明はこちらから

<https://ywl.jp/service>

ICTライブラリ サービスサイト 検索

イメージ画像



※制作中のため内容・仕様は一部変更になる可能性があります。

改訂のポイント

歴史総合

現代の歴史総合

わたしたちの歴史

日本史探究

世界史探究

指導書関連

その他の教材